

平成30年度

事業概要

社会福祉法人かながわ共同会

厚木精華園

平成 30 年度事業概要を取りまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

平成 30 年度は、指定管理による施設運営の第二ステージの 3 年目となり、更なる「支援・介護・看護」による統合的なケア等の充実を目指しました。

当園のサービス利用者は、年度末現在で施設入所支援実人員 105 名、延 38,327 名・生活介護実人員 135 名、延 35,759 名・共同生活援助実人員 33 名、延 11,782 名・厚木身体障害者等生活介護実人員 36 名、延 3,048 名となりました。また、1 年間の新規契約者は 10 名、うち施設入所 8 名・生活介護 2 名となり、退所者は 9 名、うち 5 名死亡・療養型病院転院 4 名で、平均年齢は 67.6 歳となっています。

利用者の高齢化や重度化に寄り添う支援の充実のため、福祉機器導入にかかる国際福祉機器展等の研修受講等の支援力の向上や、高齢者支援セミナーのテーマを「高齢者を知る」とし年間 12 回開催し、305 名の受講があり、高齢の知的障害者支援のノウハウの発信にも取り組みました。

地域連携では、荻野地区協定施設連絡会議に参画するなど防犯・防災活動における地域連携に取組み、地域ニーズに対応した応急手当普及員派遣を 4 回等地域貢献の促進や近隣の厚木市立荻野小学校 3 年生 70 名と利用者との交流会も実施しました。

在宅の障害者支援の一環として、サービス等利用計画策定等の相談支援事業や厚木市の障害支援区分認定調査にも取り組みました。

最後に、令和元年度も引き続き、当園も同法人の運営施設として津久井やまゆり園の再生に取り組むとともに、よりきめ細やかな寄り添う支援の充実のために、今後ともご理解・ご協力をお願い申し上げます。

令和元年 6 月

園長 平嶺 一昭

目次

はじめに（園長挨拶）

I	園事業報告	1
	1 園概況	1
	(1) 沿革	1
	(2) 事業内容	1
	(3) 利用者概況	1
	2 第四期中長期計画	2
	(1) 取組みの視点	2
	(2) 基本方向	2
	3 組織図	3
	4 会議・委員会等体制	4
	5 年度重点目標評価・まとめ	7
	6 運営実績	10
	7 決算報告	11
	8 年間事業取組結果	12
	9 会議・委員会等取組結果	14
	10 各課年度重点目標取組結果	16
	11 人権・権利擁護	18
	(1) 取組内容	18
	(2) 苦情・要望報告(件数)	18
	(3) 人権・権利擁護目標・効果	19
	12 危機管理・安全対策	20
	(1) 取組内容	20
	(2) 事故防止等対策	20
	(3) ひやりはっと報告	20
	(4) 事故報告	20
	(5) 防災・防犯訓練実施報告	21
	13 職場研修実績	22
	(1) 園内研修	22
	(2) 外部研修	23
	14 ボランティア活動受入実績	24
	(1) 行事	24
	(2) 日常	24
	15 実習生・研修生等受入実績	25
	16 地域サービス事業取組結果	26
II	各課事業報告	27
	1 総務課	27
	2 栄養調理課	28
	3 相談研修課	30
	4 生活課	34
	5 日中支援課	36
	6 看護課	38
	7 厚木身体障害者等生活介護事業所	44
	8 地域生活支援課	45
	9 厚木精華園相談支援事業所	47
III	家族会活動報告	48
IV	後援会活動報告	49

I 園事業報告

1 園概況

(1) 沿革

平成 6年	7月	神奈川県立厚木精華園として開設 定員:一般入所118名、短期入所2名 対象:中高齢で医療的ケアの必要な知的障害者 運営主体:社会福祉法人かながわ共同会
平成 7年	4月	厚木市障害者デイサービス(重心)事業受託、運営開始
平成 9年	6月	厚木精華園ゆめホーム事業(グループホーム)開設、運営開始
平成 18年	4月	地方自治法の規定により、厚木精華園を指定管理者として神奈川県が社会福祉法人かながわ共同会を指定
平成 20年	4月	新サービス事業体系へ移行(施設入所支援110名、短期入所2名、生活介護140名)
平成 21年	4月	厚木市身体障害者生活介護事業所受託、運営開始
平成 23年	2月	第三者評価受審(株式会社コモンズ21)
平成 23年	4月	厚木身体障害者等生活介護事業所を自主事業として運営開始
平成 26年	1月	厚木精華園相談支援事業所「ここから」開設
平成 26年	4月	特定障害者支援施設指定更新
平成 27年	10月	厚木市障害者相談支援等事業受託開始
平成 28年	4月	地方自治法の規定により、厚木精華園を指定管理者として神奈川県が社会福祉法人かながわ共同会を指定

(2) 事業内容

(名)		(名)		
県指定管理事業		法人自主事業		
事業名	定員	事業所名	事業名	定員
施設入所支援	110	厚木精華園ゆめホーム	共同生活援助	40
生活介護	140	厚木身体障害者等生活介護事業所	生活介護	20
短期入所	2	厚木精華園相談支援事業所	特定	-

(3) 利用者概況

7 年齢

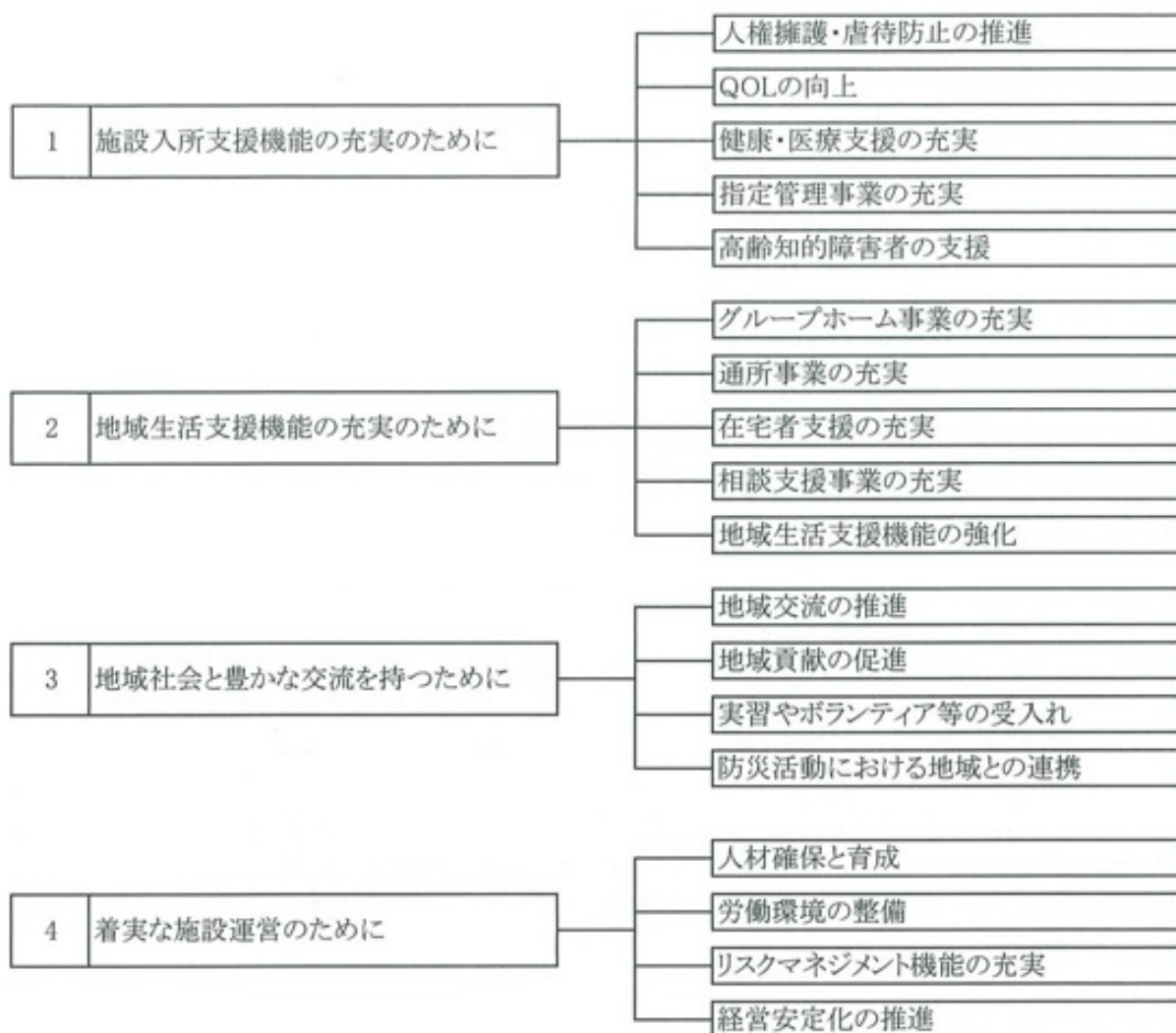
	(歳)		
	平均年齢	最年少	最年長
施設入所支援	67.1	43.5	89.1
生活介護	65.5	26.11	89.1
共同生活援助	64.8	34.5	85.5

イ 障害支援区分

	(名)					
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
施設入所支援	63	25	13	3	0	0
生活介護	73	33	23	5	1	0
共同生活援助	1	11	15	4	2	0
合計	137	69	51	12	3	0

2 第四期中長期計画

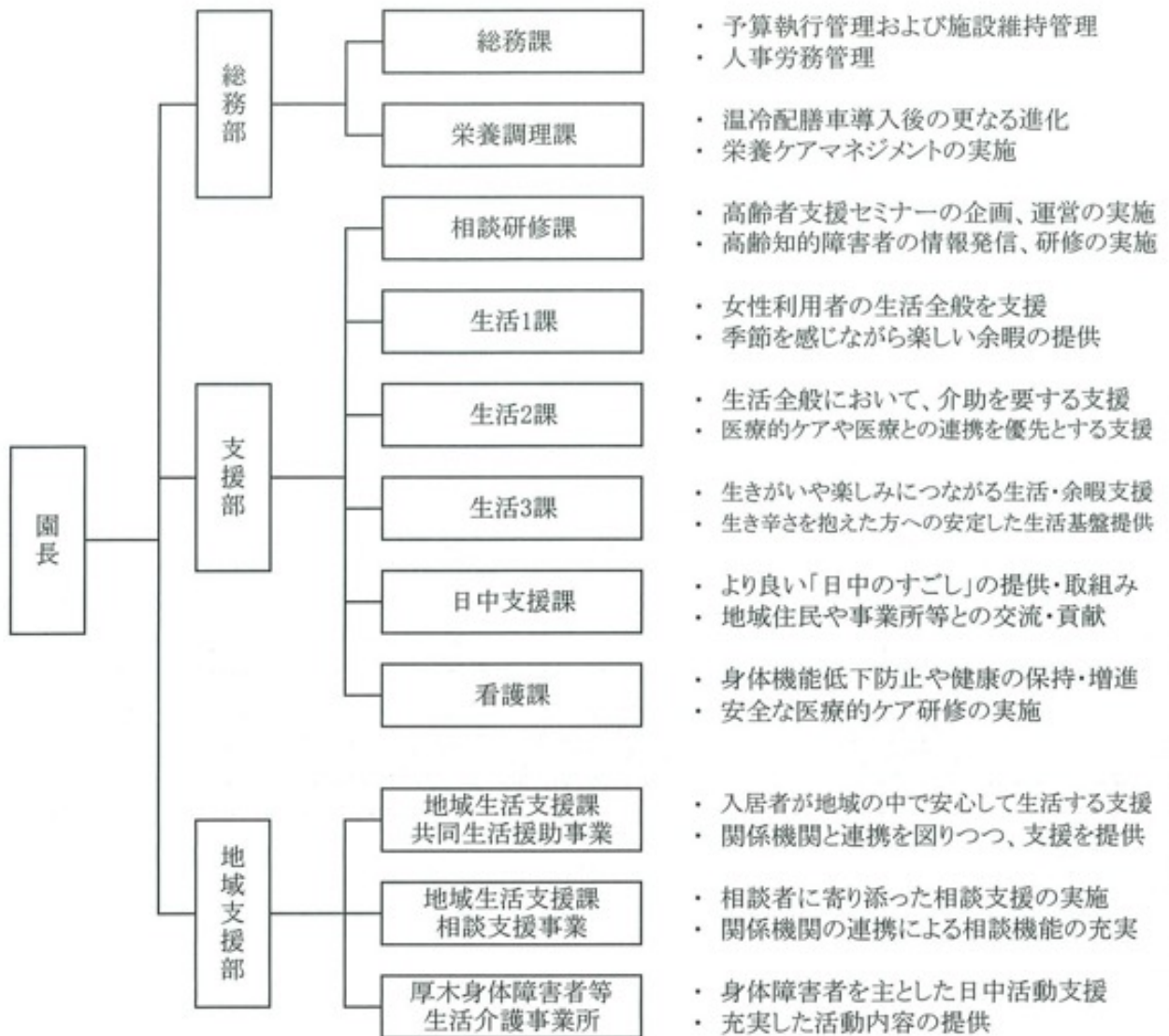
(1) 取組みの視点



(2) 基本方向

- ・高齢の知的障害者及び医療的ケアを必要とする中高齢の知的障害者の心豊かで充実した暮らしを支えます。
- ・知的障害者の権利宣言を柱とする「あおぞらプラン」を遵守し、人権擁護の取組みを推進します。
- ・施設生活を固定的に捉えず、地域と連動し、地域生活が可能な利用者には地域での暮らしができるよう支えます。
- ・施設経営を「運営から経営へ」という視点で捉え、事業活動を展開します。

3 組織図



4 会議・委員会等体制

会議等名	協議・検討内容	構成員
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営上の重要課題及び重点事項 ・園長の特命事項 ・その他必要事項 	園長 各部長 各課長
経営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・園の経営に関する事項 ・予算に関する事項 ・決算に関する事項 ・その他必要な事項 	園長 各部長 各課長 総務課職員
主任会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各課間の調整に関する事項 ・運営会議の特命事項 ・成年後見制度の推進に関する事項 ・中長期計画の進行管理に関する事項 ・その他必要な事項 	各課主任 担当課長
全体職員会議	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営上の重要課題に関して職員全体の意見交換及び園内外の情報伝達に関する事項 ・その他必要な事項 	全職員
モニタリング会議	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援及び個別支援計画に関する事項 ・栄養ケアマネジメントに関する事項 ・その他必要な事項 	サービス管理責任者 課長 主任 課員
課リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援に関する事項 ・グループ間の調整に関する事項 ・その他必要な事項 	サービス管理責任者 課長 主任 グループリーダー
課会議	<ul style="list-style-type: none"> ・課運営の主要課題及び重要事項 ・課長の特命事項 ・諸会議報告 ・課全体の意見交換及び情報伝達 ・利用者支援(及び個別支援計画)に関する事項 ・地域生活支援課においてはゆめホーム事業の見直し、相談支援に関する事項 ・相談研修課においては相談事業に関する事項 ・その他必要な事項 	サービス管理責任者 担当課長 主任 課員
サービス利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・入所希望者の許諾・受入れに関する事項 ・退所希望者に関する事項 ・利用者サービス調整に関する事項 ・地域生活移行・定着に関する事項 ・相談支援に関する事項 ・その他必要な事項 	園長 各部長 各課長 ケースワーカー
行事担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・園内行事(長寿の祝い/ラ・フェスタ/クリスマス会等)に関する事項 ・その他園内行事に関する事項 ・その他必要な事項 	課長
衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法第18条に基づき職員の健康障害を防止するための基本対策に関する事項 ・交通安全に関する事項 ・その他必要事項 	衛生管理者 産業医 園長委嘱職員 労務委員職員

虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止のための体制作りに関する事項 ・虐待防止のチェックとモニタリングに関する事項 ・虐待発生後の対応と総括 ・その他必要な事項 	園長 各部長 各課長 (管理者・サービス管理責任者)
人権委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の人権擁護に関する事項 ・第三者による点検活動の推進に関する事項 ・苦情解決に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長
利用者自治会委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者自治会のサポートに関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長
リスクマネジメント委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントに関する事項 ・利用者の安全確保に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長
防犯・防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する事項 ・災害対策に関する事項 ・防犯に関する事項 ・環境整備に関する事項 ・法人危機管理委員会に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修や派遣研修等の企画実施に関する事項 ・高齢者支援セミナーの事務局運営に関する事項 ・法人研修委員会との連携に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課長 担当課員
食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の食事に関する事項 ・食事に関する利用者支援全般に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長
医療安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引等の実施について医療関係者との連携の下で安全確保体制を整備し、常時適切な喀痰吸引業務実施の推進に関する事項 ・その他必要な事項 	医師 園長 支援部長 看護課長 担当課員
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康管理に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長
情報ネットワーク委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報ネットワークの運営管理に関する事項 ・法人情報ネットワーク委員会との連携 ・ホームページの運用に関する事項 ・パソコン運用に関する事項 ・その他必要な事項 	総務部長 担当課員
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康管理に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 看護課長
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・厚木精華園の広報に関する事項 ・広報誌ベルデカーレ発行に関する事項 ・パンフレットの発行に関する事項 ・その他必要な事項 	総務部長 担当課員
夏まつり委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りの企画運営に関する事項 	担当課員 担当課長

長寿の祝い委員会	・長寿の祝いの企画運営に関する事項	担当課員 担当課長
ラ・フェスタ委員会	・ラフェスタの企画運営に関する事項	担当課員 担当課長
クリスマス委員会	・クリスマスの企画運営に関する事項	担当課員 担当課長
終末期支援	・終末期支援に関する事項 ・その他必要な事項	担当課員 担当課長
運営再編	・運営再編に関する事項 ・その他必要な事項	担当課員 担当課長

5 年度重点目標評価・纏めて

重点目標 上半期取組結果 (平成30年4月～9月)	下半期取組結果 (平成30年10月～平成31年3月)	年度総括
1 施設支援機能の充実のために		
<p>(1) 人権擁護・虐待防止の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員対象の人権研修を別荘実施。 各課での虐待未然防止対策の取組みの検証を毎月行い、虐待防止委員会への報告し共有を図る。 人権目標(3か月毎)を設定し、各課の取組み評価等を虐待防止委員会へ報告し共有を図る。 オンブズマン相談会(毎月)、第三者委員(4・6月)が来園し6月は利用者自治会代表者と懇談会を実施。 オンブズマン相談会の報告書等を人権委員会にて情報共有し支援に反映した。 虐待防止委員会を毎月開催し虐待防止の推進を図る。 福祉サービス第3者評価受審の研修に参加し、介護福祉士会による受審を主任会中心に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員会を毎月開催し、各課の虐待未然防止対策の取組み検証を行った。 人権目標(3か月毎)を設定し、各課の取組み評価等を虐待防止委員会へ報告し、共有を図った。 利用者自治会委員会(隔月)、人権委員会(毎月)、オンブズマン相談会(毎月)、第三者委員(2月)との懇談会を開催した。 福祉サービス第3者評価受審、1/9介護福祉士会の訪問調査を受け3月結果公表となった。 オンブズマン相談会の報告書等を人権委員会にて情報共有し支援に反映した。 Aネット主催の利用者研修会(カラオケ大会)へ参加した。 1月園内特別研修「人権擁護に関する研修」を開催した。 利用者満足度調査を実施、調査結果を3月に公表した。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者自治会、人権委員会、虐待防止委員会は年間予定通り、安定的に開催することができた。職員の人権意識の醸成のためには委員会の開催回数は現状を維持が望ましい。また、Aネット活動は利用者研修会への参加やAネットセミナーへの参加等を含め、他施設との取組みを理解する機会や職員や利用者との交流する場であり人権意識向上のための地域の拠点的機能を担っていることから、Aネットとの協力や施設間連携を今後も継続していきたい。 利用者満足度調査は、過去の結果と比較して現状のサービスレベルを確認ができ、至らない項目を確認し、改善につなげることが、人権擁護につながることで継続することが重要である。 福祉サービス第3者評価受審の後、3月に結果公表となったが高評価を得たことで、職員のモチベーションアップ、自信につながった。
<p>(2) QOLの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月の食事委員会を中心に利用者状況を確認。共有し、食事支援、栄養ケアマネジメントに活かす。 寝具の入れ替えは予定通り実施した。酷暑に対するこまめな室温調整と水分補給で熱中症対策を取ったが、数名「熱中症」の診断があった。軽症で済んだが、更なる配慮が必要。 入浴設備に関し、定期的な確認を実施した結果、故障等もなく安全に実施できた。衛生面に関してもシャワーヘッドの消毒を定例で実施し、感染を予防できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月食事委員会を開催。代替食の再確認やメニューに合った食器(デザートスプーン)の提供等、生活現場と調理課との連携を図り、食事支援メニューを学び、支援に活かすことができた。栄養ケアマネジメントを主任から食事委員会への引き継ぎを行った。 寝具の入れ替えを予定通り実施した。寒さ対策として室温や衣類の調整をこめに行った。また温度だけでなく、加湿器を活用した湿度管理を行った。その結果冬季に流行する感染症等の拡大はなく重症に至ることもなかった。 入浴設備に関し、定期的な確認を実施した結果、故障等もなく安全に実施できた。衛生面に関してはシャワーヘッドの消毒を定例で実施し、感染を予防できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の基本となる食事・入浴・排泄に関わる部分は、看護課や栄養調理課と連携を図り、細かい部分まで配慮できるよう取組んだが、徹底までには至らなかった。今年度は夏の異常な暑さと冬の感染症大流行等が社会的に問題となっていたが、早めに対応することで、大事には至らず予防することができた。今後は質の向上、さらに各セクションの連携と職員一人ひとりの意識向上を図れるよう取組んでいく。
<p>(3) 健康・医療支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援員と連携し、利用者の特性や疾患に合わせ通院先を検討。地域病院との連携に至っては、大きなトラブルもなく対応できている。 医療的ケア園内研修は定期的に行い、職員の新入りと指導の再確認ができた。実地研修については15名中追加研修者を含め12名修了している。新たに9月から胃壊造設者1名の追加研修予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援員と連携し、利用者の特性や疾患に合わせ通院先を検討してきたが、通院先より高齢者であること、それに対する支援の在り方についての投げかけがあった。 医療的ケア園内研修は定期的に行い、職員の新入りと指導の再確認ができた。喀痰3号研修は新規4名、追加研修23名すべて終了した。 感染症はインフルエンザA型が園のみの発症者がいたが、本体施設は発症がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢に伴う健康面での変化が著しく、施設内での支援や看護に限界があり、協力医療機関との連携においては困難を要している現状がある。 医療的ケア研修については安全に配慮し実施することができた。感染症は本体施設利用者には発症はなかったが、日頃より感染症予防に取り組んでいくことが必要である。
<p>(4) 指定管理事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高齢者支援セミナー」開催については、毎月開催し、延べ107施設、171名の参加。 内容は6月合同セミナーが「栄養士から考える食事支援」とし開催。予定通り実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者支援セミナー」開催については、毎月開催し、延べ85施設、134名の参加。内容は11月高齢研との合同セミナー「認知症について正しく理解する～中高齢の知的障がいのある方の支援に繋げるために」として開催。予定通り実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者支援セミナー」開催については、毎月開催し、年2回は高齢研との合同セミナーとして外部会場にて開催した。延べ187施設、385名の参加実績。計画通り実施することができ、年間を通して参加される方や内容により参加される方がいることが分かった。またアンケートを通じて受講したい研修内容を伺い、次年度計画に反映することができた。
<p>(5) 高齢知的障害者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 随時で理学療法士とともに利用者の状態を確認し、日々行える機能維持の取組について学び、実践した。 新採用職員、異動職員へダブル勤務で日々の健康管理、介護技術・支援技術等を指導し、習得後はスキルアップが図れるよう、適宜確認等を実施した。 「医療的ケア」について、看護師による手技確認実施。 新採用1名不特定の者研修に参加。 新採用職員3名、異動職員3名が実地研修に取り組み。 不定期ではあるが、日中活動内で園内外の散歩活動を実施し、改善について検討、取り組む。 月に1回程度、ファミリーマート販売会や喫茶おはなしを実施。園全体の行事としては、7月に夏まつり、9月に長寿の祝いを実施。8月にも移動販売会を実施した。8月にはディズニーアンバサダーによる訪問を実施。 各課単位での日帰り旅行・宿泊旅行の計画・実施。 生活1課 日帰り旅行10名実施。 生活2課 日帰り旅行11名・宿泊旅行3名実施。 生活3課 日帰り旅行10名・宿泊旅行9名実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 随時で理学療法士とともに利用者の状態を確認し、日々行える機能維持の取組について学び、実践した。 日々の健康管理、介護技術・支援技術等を指導し、習得後はスキルアップが図れるよう、適宜確認等を実施した。 「医療的ケア」について、看護師による手技確認を実施した。 1名不特定の者研修に参加した。 新採用職員・異動職員、追加行為の介護職員等による喀痰吸引の資格が取得できた。 不定期ではあるが、日中活動内で園内外の散歩活動を実施し、改善についての検討を行った。 月に1回程度、ファミリーマート販売会や喫茶おはなしを実施。園全体の行事は、ラ・フェスタ(10月)クリスマス会・移動販売会(12月)新年会(1月)、春の宴(3月)を予定通り実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢知的障がい者の特性を理解しながら日々の健康管理に努めるとともに、理学療法士のアドバイス等を受けて、介護技術や支援技術のスキルアップを図った。今後も日々の健康管理から利用者の変化に気付けるよう、理学療法士のアドバイスや異変時対応訓練等を通して、介護・支援技術のスキルアップに努めていきたい。また、「医療的ケア」については継続して喀痰吸引の資格取得と、看護師による手技確認を実施していく。 また、利用者が充実した日々を送れるよう、行事・外出や日中活動について園全体で協力しながら取り組んでいく。

重点目標	上半期取組結果(内容) (平成30年4月～9月)	下半期取組結果 (平成30年10月～平成31年3月)	年度総括
2	地域生活支援機能の充実のために		
(1)	グループホーム事業の充実		
	<ul style="list-style-type: none"> 7月末にて1名退所したが、9月より新たに3名の新規利用あり。 求人募集により現在就労人材は埋まっている。 居宅介護支援事業所等と連携を図り、日常生活・余暇の充実を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所等と連携を図り、体験利用の呼びかけを行った。 積極的にコミュニケーションを取り、利用者特性、業務の情報共有を図った。また、夜間ホーム間で定時連絡を実施して、連携強化に取り組んだ。 居宅介護支援事業所等と連携を図り、日常生活・余暇の充実を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世話人不足は解消されたが、利用者定員を埋めることが出来ず、大幅な赤字となってしまった。 体験利用からの入所率が高いので、今後は積極的に宣伝活動を行い相談支援事業所、入所施設を小まめに訪問して情報収集に努め、体験利用数の大幅増を図りたい。 外部事業所との連携、業務の見直しを図り、利用者へ安全・安心・充実を更に感じてもらえるよう取組んでいく。
(2)	通所事業の充実		
	<ul style="list-style-type: none"> グループホーム利用者の障害特性、本人の希望を考慮して日中活動の場の検討を行っている。 利用者の意向に沿った余暇等選択できる活動の提供の促進 相談支援事業所、養護学校等より7～9月期利用相談2件。安定した経営を維持していくために、ニーズ把握に努め、見学、体験利用を促進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 2名の利用者が本人の希望により、通所先を増やした。 利用者の意向に沿った余暇等選択できる活動の提供を促進。 12月に新規で1名利用開始。利用日数を増やした方2名。また、安定した経営を維持していくために、ニーズ把握に努め、相談支援事業所等にチラシを配る等の宣伝、見学、体験利用を促進した。 次年度の開所日数の増加を図るため、月1回土曜日開所を2月、3月に試行した。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初より退去や健康不良により4名の利用者が退所。また、3月末に65歳を迎えた利用者2名が期間満了のため退所された。 1名の利用者が12月より利用を開始した。次年度より利用予定だった養護学校の卒業生1名が体調不良のため、当事業所利用も辞退した。 年間延べ人数が前年度に比べ104名となり、利用者の意向と経営安定を図るために、2月と3月に1回づつ土曜日開所を試行した。多くの利用者が参加したことを受け、次年度より土曜日祝祭日の営業を含め年間15日間開所を増やしていく。 スタート当時のワクワク感が減ってマンネリ化傾向になっている等の満足度調査結果や利用者自治会の意見を参考とし、活動内容等、新たな取り組みを検討し、ニーズを探り利用者確保に繋げたい。
(3)	在宅者支援の充実		
	<ul style="list-style-type: none"> 上半期3名の体験利用を行い、2名が新規利用に繋がった。 相談支援事業所と連携をとり、短期入所先の拡充を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 下半期2名の体験利用あり、1名は今後も利用していきたいと申し出あり。 相談支援事業所より虐待を疑われる利用者の短期間利用依頼があり受入れを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村、相談支援事業所と連携を図りながら、家族の高齢化、虐待に対応していく。
(4)	相談支援事業の充実		
	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所連絡会等へ積極的に参加。 事業所内で役割を明確にし認定調査については滞りなく進めているが、計画相談については資格保有者が少ないため計画通りに進めるのが難しい。 勉強会については、業務を優先しているため実施に至らず。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所連絡会等へ積極的に参加。 事業所内で役割を明確にし認定調査については滞りなく進めているが、計画相談についてはニーズに追いつかない状況であった。 勉強会については、業務を優先しているため実施に至らず。 	<ul style="list-style-type: none"> 安定した相談支援専門員の確保により事業の安定化を図りたい。
(5)	地域生活推進機能の強化		
	<ul style="list-style-type: none"> 後見制度活用については、市町村等と連携を取りながら進めている。 介護保険は、上半期新たに1名が活用開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村からの助言で1名が任意後見制度利用。 新たに65歳になった利用者が介護保険サービス利用開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業の安定化により、成年後見制度、介護保険の活用促進を更に図り、中高齢障がい者の地域生活移行と継続に取り組むたい。 相談支援事業所を中心に関係機関の連携を図り、在宅障害者が安心して生活できる環境を整えていく。
3	地域社会と豊かな交流を持つために		
(1)	地域交流の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> 自治会役員として広報活動に従事する。 自治会行事へ利用者参加を促している。 地域包括支援センターとの協力体制の元、支援の共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会役員として広報活動に従事また、各行事へ参加した。 地域包括との協力体制の元、精神障害者の対応を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会行事である美化清掃に利用者とともに年3回参加した。 グループホームにおいては、自治会との協力が不可欠なため今後も積極的に行事に参加して理解を得ていく。 地域包括との協働を積極的にを行い、障害者・高齢者の安心・安全な生活を支えていく。
(2)	地域貢献の促進		
	<ul style="list-style-type: none"> 志願者および役員による普通教員講習会を6/21、厚木地区世話人研修24名、すぎな会7/17 12名実施。 自治会清掃活動に積極的に参加した。(7/1、22) 自治会防災訓練に参加。(9/2) 上野地区残土処分計画対策協議会に参加し、意見交換を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 普通教員講習会、10/9すぎな会堂育室、14名、3/8法人採用前研修、15名、3/28ららふる青葉8名実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の清掃活動やグループホーム所在地の自治会役員を務めた。 他法人職員や厚木市内のグループホームの世話人を対象とした普通教員講習会を行った。
(3)	実習やボランティア等の受け入れ		
	<ul style="list-style-type: none"> 実習及び介護体験等の受け入れにて、保育実習生7名、相談支援実習1名、職場体験として2名の受け入れを実施。 国内外の行事等の案内を行ない、定期的にボランティア参加を図る。 ボランティアセンターへの登録や掲示、また地域自治会での回覧版や地域公民館にて広報誌を一定期間配置してもらい、インフォメーションを図る。新規ボランティア登録は22名。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習及び介護体験等の受け入れにて、保育実習生8名、相談支援実習1名(延べ24日)、介護等体験2名、職場体験として3名受入実施。 国内外の行事等の案内を行ない、定期的にボランティア参加を図った。 地域自治会での回覧版による周知や地域公民館での広報誌配置によるインフォメーションを実施したが、新規登録者はいなかった。 ボランティア懇談会では継続参加と敬少等の日中の活動への参加を呼び掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習及び介護体験等の受け入れにて、保育実習生15名(延べ165日)、相談支援実習1名(延べ24日)、介護等体験2名(延べ10日)職場体験として2名、施設職員受入実施し、合計16機関 24人延べ213日の受け入れを実施。 国内外の行事を中心にボランティア案内を実施したが、まとまった人数での参加が少なかった。 ボランティアは高齢の方が増え、ボランティア参加から遠ざかっており、参加人数が減少してきている。今後は新規登録者への取り組みが重要となってくるとともに、日中活動内容に合わせた日々のボランティア案内も検討していくことが必要ではないか。
(4)	防災活動における地域との連携		
	<ul style="list-style-type: none"> 狭野地区協定施設連絡会委員の完成と定期的な連絡会の開催。(5/28、6/18、8/27) 厚木市危機管理課および厚木土木事務所との打ち合わせ。(9/12、9/18) 地域包括支援センター、狭野地区市民センターと地域防災についての打ち合せ。(9/4) 	<ul style="list-style-type: none"> 12/8基幹支援相談センターシンポジウムにて「地域連携による防災対策～地域で支える～」を発表した。 1/21「要援護者支援マニュアル作成指針について」の研修に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 狭野地区協定施設連絡会を軸とした狭野地域の福祉施設との連携基盤ができてきている。引き続き次年度も近隣施設と顔が見える関係づくりと連携強化を図りたい。 危機管理課、障がい福祉課、自治会等をはじめとした災害支援関係者との協働方法の関与が必要。

重点 目標	上半期取組結果（内容） （平成30年4月～9月）	下半期取組結果 （平成30年10月～平成31年3月）	年度総括
4 重要な施設運営のために			
	(1) 人材確保と育成 ・職員確保に向けた求人活動の促進。 ・人材育成及び魅力ある職場づくりのための各種研修の開催及び各種研修への派遣実施。 ・内容：新採用・異動職員研修（20名）及びフォローアップ研修（24名）、非常勤研修（人権擁護、3回34名）、応急手当講習会（2回、34名）、腰痛予防研修（25名）、メンタルヘルス研修（45名）、交通安全研修（36名）、他含め15回開催、287名受講。 ・普及員講習新規及び更新含め5名受講。 ・上半期外部研修派遣19件、51名が研修によりスキルアップを図る。 ・高齢者支援セミナー6回開催、171名受講。 ・上半期計509名研修参加しスキルアップを図る。 ・夜野中学校職場体験2名受入、育成にも努めた。	・職員確保に向けた求人活動の推進。 ・人材育成及び魅力ある職場づくりのための各種研修の開催及び各種研修への派遣実施。 ・内容：基礎研修【オムツのあて方（2回12名）、白内障支援の取り組み（7名）】、感染症研修（23名）、記録の書き方（40名）人権擁護研修（48名）、他含め8回開催、168名受講。 ・上半期外部研修派遣24名が研修によりスキルアップを図る。 ・高齢者支援セミナー6回開催、134名受講。 ・オープンセミナー（愛名合同）「意思決定支援」46名参加。 ・愛川中学校職場体験2名受け入れ、育成に努めた。	・人材確保のための求人活動に努めたが立地条件の課題もあり成果に結びつけることが難しかった。 ・有効な求人方法を模索するとともに丁寧な対応により離職を防ぎたい。
	(2) 労働環境の整備 ・毎月、ノー残業デーweekとノー残業デーのポスター掲示。 ・メンタルヘルス研修を2回実施。 ・職場環境調査として気温と湿度を計測を実施。 ・職員の健康管理として、紫外線、熱中症対策について学ぶ。 ・労災発生状況についての意見交換を実施。	・ノー残業デー、ノー残業weekを設定し、ポスターを掲示した。 ・衛生委員会にて健康診断結果について分析を行った。 ・職員個別相談2名実施。	・衛生委員会を活用し交通安全研修や腰痛予防研修、メンタルヘルス研修を開催し労働者の健康障害を防止する取り組みを行った。
	(3) リスクマネジメント機能の充実 ・防災対策マニュアルの周知・活用を促進 ・防犯訓練の実施（7/31）。 ・浸水害想定訓練の実施（8/31）。 ・県厚木土木事務所（9/12）および厚木市危機管理課（9/13）と「土砂災害警戒区域」について打ち合わせ。 ・定期的な委員会にて各種訓練やひやりはっとの検証。	・ひやりはっとならび報告の集計と分析を行った。 ・平成30年度障害福祉施設等危機管理アドバイザー派遣事業を実施し、アドバイザーの助言に基づき備品を購入した。 ・緊急時対応訓練、感染症対応訓練の実施。 ・事業所別、テーマ別の初動マニュアルを策定した。	・ひやりはっとならび報告の集計・分析から、年度別にみると、ひやりはっとならび報告は減少傾向にあるが事故報告は増えていることから、リスクマネジメント視点での支援組み立ての再構築が必要であることが分かった。 ・防災、防犯に係るマニュアル作りは一定の成果があった。
	(4) 経営安定化の推進 ・経営会議を活用し予算の組み立て並びに執行の確認を実施。 ・備品更新並びに修繕について支援と確認しながら計画的に執行。 ・限と調整しながら計画通りに取り組む。	・経営会議にて修正予算並びに当初予算の説明を行った。 ・計画的な備品購入と修繕を実施した。 ・神奈川県と連携し計画種得意取り組んだ。	・自立支援費の加算を含めた予算説明を管理者へ行い、経営の意識向上に努めた。次年度は厳しい経営が見込まれるため、即減に向けて努力が必要。 ・老朽化進んでいるため、神奈川県担当者と密に連絡を取ることによってスムーズに改修工事に取り組めた。引き続き連携しながら建物の維持管理を行っていく必要がある。

6 運営実績

1 指定管理事業

(1) 実績

(名)

			上半期実績	下半期実績	年間実績
障害者支援施設	施設入所支援	定員	110	110	110
		延べ人数	18,722	18,654	37,376
	生活介護	定員	140	140	140
		延べ人数	16,602	15,940	32,542
短期入所		定員	2	2	2
		延べ人数	527	418	945
		稼働率	144%	115%	129%

※短期入所は空床型の実施を含む

(2) 障害支援区分

(名)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
施設入所	0	0	3	13	25	63	104
生活介護	0	1	5	23	33	73	135

(3) 日中一時支援事業

(名)

区分		H29年度	H30年度
		延べ人数	延べ人数
児童	男性		
	女性		
	計		
成人	男性	4	0
	女性	29	7
	計	33	7

2 自主事業

(1) グループホーム入居者 (8ヶ所)

(名)

区分	入居者数	平均年齢	1人あたり平均			日中活動			入所前		
			居室面積(坪)	利用料(食費含月額)	収入(年金含月額)	園内通所	園外通所	就労	自施設	在宅	その他
男	17	62.2	6	61,308	73,474	10	8	0	7	7	3
女	14	70.6	6	59,693	78,707	10	6	0	8	2	4
計	31	66.4	6	60,500	76,095	20	14	0	15	9	7

※重複者あり

(2) 厚木身体障害者等生活介護事業所

(名)

生活介護	年度	H29年度	H30年度
	定員	20	20
	延べ人数	3,165	3,048

(3) サービス等利用計画作成

(件)

	H29年度	H30年度	厚木市	清川村	座間市	秦野市	他市町村
件数	83	70	52	0	5	2	11

3 その他

(1) 障害者雇用

(名)

区分		H28年度	H29年度	H30年度
障害者雇用	男	1	1	1
	女	1	0	1
	計	2	1	2

(2) 実習生受入

(名)

区分	H29年度	H30年度
実人数	20	20

(3) ボランティア受入

(名)

区分	H29年度	H30年度
延べ人数	260	152

(4) 見学者受入

(名)

区分	H29年度	H30年度
延べ人数	127	245

(5) 養護学校実習生受入

(名)

区分	H29年度	H30年度
延べ人数	2	1

貸借対照表内訳表
平成31年 3月31日現在

勘定科目	厚木精華園拠点	厚木地区拠点	合計
流動資産	367,166,090	63,734,657	430,900,747
現金預金	248,323,431	30,465,022	278,788,453
事業未収金	101,674,728	31,569,951	133,244,679
貯蔵品	76,090		76,090
給食用材料	1,278,180		1,278,180
立替金	4,774,174	28,512	4,802,686
前払費用	517,998	1,661,172	2,179,170
拠点区分間貸付金	10,438,489		10,438,489
仮払金	83,000	10,000	93,000
固定資産	209,537,276	58,491,847	267,939,123
その他の固定資産	209,537,276	58,491,847	267,939,123
建物	5,161,464	27,085,668	32,247,134
構築物	2,294,654		2,294,654
機械及び装置	81,661		81,661
車輦運搬具	1,636,832	2,317,104	4,003,936
器具及び備品	6,588,957	1,402,665	7,991,622
有形リース資産		3,033,600	3,033,600
ソフトウェア	1,845,316		1,845,316
退職給付引当資産	85,261,200	20,081,300	105,342,500
修繕積立資産	6,000,000		6,000,000
備品等購入積立資産	100,535,000	3,900,000	104,435,000
差入保証金		550,000	550,000
長期前払費用	82,190	31,510	113,700
資産の部合計	576,703,366	122,136,504	698,839,870
流動負債	58,469,955	25,546,738	84,016,693
事業未払金	26,719,273	10,837,667	37,556,940
その他の未払金	4,742,280		4,742,280
1年以内返済予定リース債務		758,400	758,400
未払費用	4,326,147	1,325,743	5,651,890
職員預り金	7,515,242		7,515,242
拠点区分間借入金	3,351,765	10,438,489	13,790,254
賞与引当金	11,815,248	2,186,439	14,001,687
固定負債	85,261,200	22,419,700	107,680,900
リース債務		2,338,400	2,338,400
退職給付引当金	85,261,200	20,081,300	105,342,500
負債の部合計	143,731,155	47,964,438	191,695,593
国庫補助金等特別積立金	1,018,675	18,372,242	19,390,917
国庫補助金等特別積立金	1,018,675	18,372,242	19,390,917
その他の積立金	106,535,000	3,900,000	110,435,000
修繕積立金	6,000,000		6,000,000
備品等購入積立金	100,535,000	3,900,000	104,435,000
次期繰越活動増減差額	325,418,536	51,897,824	377,316,360
次期繰越活動増減差額	325,418,536	51,897,824	377,316,360
(うち当期活動増減差額)	48,642,679	△12,355,711	36,286,968
純資産の部合計	432,972,211	74,170,066	507,142,277
負債及び純資産の部合計	576,703,366	122,136,504	698,839,870

【厚木精華園 拠点区分】

- ・施設入所
- ・短期入所
- ・生活介護
- ・診療所
- ・日中一時

【厚木地区 拠点区分】

- ・共同生活援助
- ・厚木身体障害者等生活介護
- ・相談支援

資金収支内訳表

(自)平成30年 4月1日 (至)平成31年 3月31日

勘定科目	厚木精華園拠点	厚木地区拠点	合計
事業活動による収支			
収入			
障害福祉サービス等事業収入	806,586,119	199,541,799	1,006,127,918
医療事業収入	32,538,216	0	32,538,216
経常経費寄附金収入	1,783,000	0	1,783,000
受取利息配当金収入	4	0	4
その他の収入	11,025,211	733,198	11,758,409
事業活動収入計(1)	851,932,550	200,274,997	1,052,207,547
支出			
人件費支出	559,818,658	161,110,147	720,928,805
事業費支出	105,974,939	21,268,805	127,243,744
事務費支出	102,017,016	28,395,393	130,412,409
その他の支出	6,043,014	16,188	6,059,202
事業活動支出計(2)	773,853,627	210,790,533	984,644,160
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	78,078,923	△10,515,536	67,563,387
施設整備等による収支			
収入			
固定資産売却収入	0	127,640	127,640
その他の施設整備等による収入	0	160,000	160,000
施設整備等収入計(4)	0	287,640	287,640
支出			
固定資産取得支出	3,941,922	0	3,941,922
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	695,200	695,200
その他の施設整備等による支出	0	5,000	5,000
施設整備等支出計(5)	3,941,922	700,200	4,642,122
施設整備等資金収支差額(5)=(4)-(5)	△3,941,922	△412,560	△4,354,482
その他の活動による収支			
収入			
積立資産取崩収入	3,304,100	1,895,020	5,199,120
拠点区分間繰入金収入	1,204,122	0	1,204,122
その他の活動収入計(7)	4,508,222	1,895,020	6,403,242
支出			
積立資産支出	15,417,201	1,940,150	17,357,350
拠点区分間繰入金支出	15,000,000	0	15,000,000
その他の活動による支出	6,919,117	0	6,919,117
その他の活動支出計(8)	37,336,317	1,940,150	39,276,467
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△32,828,095	△45,130	△32,873,225
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(5)+(9)	41,308,906	△10,973,226	30,335,680
前期末支払資金残高(11)	277,924,297	52,165,984	330,090,281
当期末支払資金残高(10)+(11)	319,233,203	41,192,758	360,425,961

事業活動内訳表

(自)平成30年 4月1日 (至)平成31年 3月31日

勘定科目	厚木精華園拠点	厚木地区拠点	合計
サービス活動増減の部			
収益			
障害福祉サービス等事業収益	806,586,119	199,541,799	1,006,127,918
医療事業収益	32,538,216	0	32,538,216
経常経費寄附金収益	1,783,000	0	1,783,000
その他の収益	2,404,220	420	2,404,640
サービス活動収益計(1)	843,311,555	199,542,219	1,042,853,774
費用			
人件費	564,117,123	162,400,374	726,517,497
事業費	104,696,759	21,268,805	125,965,564
事務費	102,017,016	28,395,393	130,412,409
減価償却費	5,642,081	6,573,960	12,216,041
国庫補助金等特別積立金取崩額	△350,700	△2,980,836	△3,331,536
サービス活動費用計(2)	776,122,229	215,657,696	991,779,925
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	67,189,326	△16,115,477	51,073,799
サービス活動外増減の部			
収益			
受取利息配当金収益	4	0	4
その他のサービス活動外収益	8,620,991	732,778	9,353,769
サービス活動外収益計(4)	8,620,995	732,778	9,353,773
費用			
その他のサービス活動外費用	6,043,014	16,188	6,059,202
サービス活動外費用計(5)	6,043,014	16,188	6,059,202
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,577,981	716,590	3,294,571
経常増減差額(7)=(3)+(6)	69,767,257	△15,398,887	54,368,370
特別増減の部			
収益			
固定資産受贈額	0	2,450,470	2,450,470
固定資産売却益	0	119,999	119,999
拠点区分間繰入金収益	1,204,122	0	1,204,122
拠点区分間固定資産移管収益	0	774,728	774,728
特別収益計(8)	1,204,122	3,345,197	4,549,319
費用			
固定資産売却損・処分損	380,252	363,635	743,887
国庫補助金等特別積立金取崩額(繰却等)		△61,614	△61,614
拠点区分間繰入金費用	15,000,000	0	15,000,000
拠点区分間固定資産移管費用	29,331	0	29,331
その他の特別損失	6,919,117	0	6,919,117
特別費用計(9)	22,328,700	302,021	22,630,721
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△21,124,578	3,043,176	△18,081,402
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	48,642,679	△12,355,711	36,286,968
前期繰越活動増減差額(12)	284,583,857	68,158,535	347,737,392
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	333,226,356	50,797,824	384,024,180
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	0	1,100,000	1,100,000
その他の積立金積立額(16)	7,808,000	0	7,808,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	325,418,536	51,897,824	377,316,360

8 年間事業取組結果

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1日(日)		1日(火)	ノー残業ディ 運営会議	1日(金)	夏まつり委員会①	1日(日)		1日(水)	健康・医療安全委員会	1日(土)	
2日(月)	辞令交付 対面式 勤怠装置説明	2日(水)	健康・医療安全委員会	2日(土)		2日(月)	ノー残業ウィーク 研修委員会	2日(木)	課リーダー会議	2日(日)	
3日(火)	新採用・異動職員研修①	3日(木)	憲法記念日	3日(日)		3日(火)	健康・医療安全委員会	3日(金)	人権委員会	3日(水)	法人総合防災訓練 ラ・フェスタ委員会④
4日(水)	新採用・異動職員研修②	4日(金)	みどりの日	4日(月)	ノー残業ディ 運営会議	4日(水)	経営会議(AM) ノー残業ディ・運営会議	4日(土)	家族会(基参り)	4日(日)	ノー残業ディ 運営会議(AM、前日準備)
5日(木)	健康・医療安全委員会	5日(土)	こどもの日	5日(火)	ノー残業ウィーク ラ・フェスタ委員会①	5日(木)	課リーダー会議	5日(日)		5日(金)	長寿の祝い
6日(金)	研修委員会	6日(日)		6日(水)	情報ネットワーク委員会	6日(金)	夏まつり委員会②	6日(月)	ノー残業ウィーク 支援部長	6日(木)	課リーダー会議
7日(土)		7日(月)	ノー残業ウィーク 広報委員会	7日(木)	職員健康診断③ 課リーダー会議	7日(土)		7日(火)	ノー残業ディ 運営会議	7日(日)	利用者自治会委員会
8日(日)		8日(火)	監事監査	8日(金)	健康・医療安全委員会	8日(日)		8日(水)	ラ・フェスタ委員会①	8日(土)	
9日(月)	ノー残業ウィーク 人権委員会	9日(水)	監事監査	9日(土)	家族会懇親会(食事会)	9日(月)	研修、異動職員フォローアップ①	9日(木)	長寿の祝い準備委員会②	9日(日)	
10日(火)	ノー残業ディ 運営会議	10日(木)	環境美化 課リーダー会議	10日(日)		10日(火)	サービス利用・虐待防止 夏まつり前日準備	10日(金)	研修委員会	10日(水)	ノー残業ウィーク サービス利用・虐待防止
11日(水)	食事委員会	11日(金)	ふれあいフェス準備 サービス利用・虐待防止	11日(月)	地域支援部長	11日(水)	夏まつり2018	11日(土)	山の日	11日(日)	健康・医療安全委員会
12日(木)	課リーダー会議	12日(土)	ふれあいフェス 家族会総会	12日(火)	サービス利用・虐待防止	12日(木)	耳鼻科健診PM ラ・フェスタ委員会②	12日(日)	各課利用者自治会	12日(金)	食事委員会
13日(金)	行事担当者会議①	13日(日)		13日(水)	研修委員会	13日(金)	食事委員会	13日(月)		13日(木)	研修委員会
14日(土)	家族会・第三者委員	14日(月)	支援部長	14日(木)	普通教命講習会①	14日(土)	家族会	14日(火)		14日(日)	防災委員会
15日(日)	各課利用者自治会	15日(火)	利用者自治会委員会	15日(金)	人権委員会	15日(日)		15日(水)		15日(土)	
16日(月)	総務部長	16日(水)	高齢者支援セミナー	16日(土)		16日(月)	海の日	16日(木)		16日(日)	各課利用者自治会
17日(火)	サービス利用・虐待防止 シナリオ見直し	17日(木)	研修委員会	17日(日)	各課利用者自治会	17日(火)	総務部長 精神科医師による講義	17日(金)		17日(水)	敬老の日
18日(水)	高齢者支援セミナー 発生委員会	18日(金)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA	18日(月)	普通教命講習会②	18日(水)	高齢者支援セミナー 利用者自治会委員会	18日(土)		18日(日)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA
19日(木)	情報ネットワーク委員会	19日(土)		19日(火)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA	19日(木)	耳鼻科健診am 衛生委員会	19日(日)		19日(金)	高齢者支援セミナー ラ・フェスタ委員会⑤
20日(金)	主任会議	20日(日)	各課利用者自治会	20日(水)	デザートテラス 厚木地区首任人 普通教命講習会 食事委員会	20日(土)	主任会議	20日(月)	食事委員会	20日(木)	衛生委員会
21日(土)		21日(月)	非常勤研修①AM	21日(木)	主任会議	21日(土)		21日(火)	サービス利用・虐待防止(AM) 桑原Drメンタル研修	21日(日)	主任会議
22日(日)		22日(火)	職員健康診断① プロジェクトB	22日(金)	主任会議	22日(日)	各課利用者自治会	22日(水)	高齢者支援セミナー	22日(土)	家族会(美化清掃) 秋分の日
23日(月)	後援会役員会PM 防災訓練・リスクM委員会	23日(水)	非常勤研修②AM 食事委員会	23日(土)		23日(月)	長寿の祝い委員会①	23日(木)	広報委員会③	23日(日)	
24日(火)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA	24日(木)	防災訓練・防災委員会	24日(日)		24日(火)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA	24日(金)	主任会議	24日(水)	
25日(水)	生活介護利用者懇談会	25日(金)	衛生委員会	25日(月)	リスクM委員会	25日(水)	研修、異動職員フォローアップ②	25日(土)		25日(日)	地域支援部長
26日(木)	プロジェクトB	26日(土)		26日(火)	衛生委員会	26日(木)	プロジェクトB	26日(日)		26日(金)	情報ネットワーク委員会
27日(金)	環境美化 職員会議・課会議	27日(日)		27日(水)	高齢研究委員会 高齢者支援セミナー	27日(土)	環境美化 特別研修・職員会議 課会議	27日(月)	利用者レントゲン 衛生委員会	27日(木)	プロジェクトB
28日(土)		28日(月)	非常勤研修③PM	28日(木)	プロジェクトB	28日(土)		28日(火)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA	28日(日)	AM避難訓練・炊き出し 環境美化 特別研修・職員会議・課会議
29日(日)	昭和の日	29日(火)	ノー残業ディ 運営会議 新採用・異動職員研修	29日(金)	AM避難訓練 環境美化・課会議	29日(日)		29日(水)	防災訓練・リスクM委員会	29日(土)	
30日(月)		30日(水)	職員健康診断② 特別研修・職員会議 課会議	30日(土)		30日(月)	広報委員会②	30日(木)	プロジェクトB	30日(日)	
		31日(木)	地域交流レクDAY			31日(火)	防災訓練・防災委員会	31日(金)	浸水避難訓練 環境美化・課会議		

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1日(月)	ノー残業ディ 運営会議	1日(水)	健康・医療安全委員会	1日(土)		1日(火)	元旦	1日(金)	健康・医療安全委員会	1日(日)	健康・医療安全委員会
2日(火)	健康・医療安全委員会	2日(木)	食事委員会	2日(日)		2日(水)		2日(土)		2日(月)	Aネットセミナー
3日(水)	ラ・フェスタ委員会⑤	3日(金)	文化の日	3日(月)	ノー残業ウィーク 健康・医療安全委員会	3日(木)		3日(日)		3日(火)	
4日(木)	課リーダー会議	4日(土)		4日(火)	ノー残業ディ	4日(金)	仕事始め	4日(月)	ノー残業ウィーク 食事委員会	4日(水)	ノー残業ウィーク 食事委員会
5日(金)	乳がん検診 前日準備	5日(日)	ノー残業ウィーク	5日(木)	研修委員会	5日(日)		5日(火)	ノー残業ディ 運営会議	5日(木)	研修委員会
6日(土)	ラ・フェスタ・第三者委員 厚木市障害者体育大会	6日(月)	研修委員会	6日(金)	課リーダー会議	6日(月)		6日(水)	デザートテラス	6日(土)	ノー残業ディ 運営会議
7日(日)		7日(火)	ノー残業ディ 運営会議	7日(土)	サービス利用・虐待防止	7日(月)	ノー残業ウィーク 健康・医療安全委員会	7日(木)	課リーダー会議	7日(日)	課リーダー会議
8日(月)	体育の日	8日(水)	環境美化 課リーダー会議	8日(日)	家族会	8日(火)	ノー残業ディ 運営会議	8日(金)	研修委員会	8日(月)	利用者自治会委員会
9日(火)	総務部長	9日(木)	利用者自治会委員会	9日(月)		9日(水)		9日(土)	家族会	9日(日)	春の宴
10日(水)	研修委員会	10日(土)	家族会	10日(火)	地域支援部長	10日(金)		10日(月)		10日(水)	
11日(木)	人権委員会	11日(日)		11日(木)	前日準備 委員会同僚オープンセミナー	11日(日)	各課新年会 食事委員会	11日(火)	建国記念日	11日(木)	地域支援部長
12日(金)	サービス利用・虐待防止	12日(月)	支援部長	12日(金)	クリスマス会	12日(月)	家族会	12日(水)	支援部長	12日(土)	サービス利用・虐待防止
13日(土)		13日(火)	サービス利用・虐待防止	13日(土)	人権委員会	13日(火)		13日(日)	サービス利用・虐待防止	13日(水)	広報委員会
14日(日)	各課利用者自治会	14日(水)	25周年記念プロジェクト	14日(日)	年末懇親会 食事委員会	14日(水)	成人の日	14日(土)	情報ネットワーク委員会	14日(月)	プロジェクトB
15日(月)	ノー残業ウィーク クリスマス委員会①	15日(木)	広報委員会	15日(月)		15日(木)	総務部長	15日(日)	生活介護利用者懇談会 人権委員会	15日(火)	後援会役員会PM
16日(火)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA	16日(金)	ノー残業ディ、AM経営会議 運営会議・プロジェクトA	16日(火)	各課利用者自治会	16日(金)	高齢者支援セミナー	16日(月)		16日(水)	
17日(水)	高齢者支援セミナー	17日(土)		17日(水)	25周年記念プロジェクト 行事委員会②	17日(土)	広報委員会	17日(火)	各課利用者自治会	17日(木)	各課利用者自治会
18日(木)	食事委員会	18日(日)	各課利用者自治会	18日(木)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA	18日(日)	サービス利用・虐待防止	18日(水)	衛生委員会	18日(土)	25周年記念プロジェクト ボランティア懇談会
19日(金)	主任会	19日(月)	クリスマス委員会② 非常勤研修PM	19日(金)	高齢者支援セミナー 主任会	19日(月)		19日(木)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA	19日(日)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA
20日(土)		20日(火)		20日(土)		20日(火)		20日(金)	高齢者支援セミナー	20日(月)	非常勤契約日AM 高齢者・高齢者支援セミナー
21日(日)		21日(水)	職員健康診断② 高齢者・高齢者支援セミナー	21日(日)	衛生委員会	21日(水)	利用者自治会委員会	21日(土)	主任会議	21日(火)	春分の日
22日(月)		22日(木)	主任会議	22日(月)		22日(木)	ノー残業ディ 運営会議・プロジェクトA	22日(日)	環境美化・課会議	22日(水)	法人合同款送迎会 職員会議 課会議・環境美化
23日(火)	広報委員会	23日(金)	勤労感謝の日	23日(火)	天皇誕生日	23日(金)	研修委員会	23日(月)		23日(水)	
24日(水)	地域交流レクディ	24日(土)		24日(水)		24日(土)	25周年記念プロジェクト 全課緊急時対応訓練	24日(火)		24日(日)	
25日(木)	衛生委員会	25日(日)		25日(木)	環境美化・課会議	25日(日)	主任会議	25日(水)	広報委員会	25日(土)	非常勤契約日PM 衛生委員会
26日(金)	臨時職員会議 環境美化・課会議	26日(月)	防災訓練・防災委員会	26日(金)	防災訓練・リスクM委員会	26日(月)		26日(木)	地区別運営協議会	26日(日)	ノー残業ディ 経営会議(AM) 運営会議
27日(土)		27日(火)	AM運営会議・プロA プロジェクトB	27日(土)	情報ネットワーク委員会	27日(火)	各課利用者自治会	27日(金)	防災訓練・リスクM委員 会	27日(月)	主任会議
28日(日)		28日(水)		28日(日)	仕事始め プロジェクトB	28日(水)	プロジェクトB	28日(土)	プロジェクトB	28日(火)	防災訓練・防災委員会
29日(月)	夜間想定、放水訓練 防災訓練・リスクM委員会	29日(木)	衛生委員会	29日(月)		29日(木)	衛生委員会			29日(日)	
30日(火)	ノー残業ディ 運営会議	30日(金)	職員健康診断③ 特別研修・職員会議 課会議	30日(火)		30日(金)	特別研修・職員会議 課会議・環境美化			30日(水)	
31日(水)	プロジェクトB			31日(月)		31日(水)	防災訓練・防災委員会			31日(日)	

9 会議・委員会等取組結果

会議等名	取組内容／結果	備考
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営上の課題を管理職で月2回検討した。 ・法人諸会議、各課、各委員会報告を行い必要事項を確認した。 	
経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・予算並びに施設維持管理、加算状況を共有化し、効率的な予算執行に努める。 ・年間3回会議を開催した。 	
主任会議	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画の進行管理に努める。 ・成年後見人の進捗、情報管理に努める。 ・介護福祉士会の第三者評価を受審した。 	
全体職員会議	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体への周知、連絡事項を確認した。 ・園長からの職員に対しての伝達をした。 	
課リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各課、課長、主任、グループリーダーで課運営に関する事項やグループ会議での連絡事項等を確認した。 	
モニタリング会議	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々の支援について確認、検討をした。 ・個別支援計画、身体拘束の確認、検討をした。 ・栄養ケアマネジメントに関して確認、検討をした。 	
課会議	<ul style="list-style-type: none"> ・課運営に関して確認、検討をした。 ・利用者支援に関して確認、検討をした。 	
サービス利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・入所希望者の受入れについて確認、検討をした。 ・利用者のサービスに関して、確認、検討をした。 	
行事担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に園内行事に関して確認・検討をした。 ・年度末に各行事の評価を実施。次年度に向けての園内行事に関して確認、検討をした。 	
衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・労働環境、健康に関して、確認、検討をした。 ・交通安全に関する研修を開催をした。 	
虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各課虐待防止の対策、支援の振り返りを報告をした。 ・虐待防止について共有し防止に努める。 	
人権委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・人権目標を2ヶ月間設定し各課で振り返りを実施した。 ・人権自己チェックリスト、利用者満足度調査を実施した。 	
利用者自治会委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、各課で利用者自治会を実施した。 ・利用者自治会主催の園行事を開催した。 	

リスクマネジメント委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっと報告の分析し共有化をはかり防止策に努めた。 ・環境整備、危険個所の点検を実施した。 	
防犯・防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、避難訓練を実施した。 ・防犯、災害に関して、確認、検討をした。 ・環境整備、備品の管理をした。 	
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を企画、実施した。 ・高齢者支援セミナーの企画、運営を実施した。 ・法人研修委員会と連携した取り組みを実施した。 	
食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の食事に関して、確認、検討をした。 ・食事提供、マナー等に関して、確認、検討した。 	
医療安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引等に関して、確認、検討した。 ・医療ひやりはっと報告を確認、検討した。 	
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康に関して、確認、検討した。 ・利用者緊急時対応訓練を全課協力して取り組んだ。 	
情報ネットワーク委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報ネットワークに関して、確認、検討した。 ・パソコン、ホームページに関して、確認、検討した。 	
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌ベルデカーレの発行を実施した。 ・パンフレットを一部修正を行った。 	
夏まつり委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつりの企画、運営を行った。 	
長寿の祝い委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿の祝いの企画、運営を行った。 	
ラ・フェスタ委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ラ・フェスタの企画、運営を行った。 	
クリスマス委員会	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会の企画、運営を行った。 	
プロジェクトA	<ul style="list-style-type: none"> ・厚木精華園の課題を抽出し、解決方向を検討した。 	
プロジェクトB	<ul style="list-style-type: none"> 法人中期計画策定プロジェクトと呼応し、第5期中継計画を策定した。 	

10 各課年度重点目標／取組結果

課名	年度重点目標／取組結果
総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設として柔軟な運用に努め、利用者が安心・安全に暮らせるように施設並びに設備の効率的な維持管理を行います。 ⇒計画的に備品更新並びに床改修等に取り組めました。 ・障害者総合支援法に基づく園の運営にあたり、関係機関等との調整を図るなど事務の円滑な推進を図ります。 ⇒各関係機関と連携し事務手続等を行いました。 ・障害福祉サービス等報酬改定の対応に努めます。 ⇒研修に参加し報酬改定に合わせた加算申請に取り組めました。
栄養調理課	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者への優しい食事『ロどけ食』の更なる改善と献立、調理方法の改善に努めます。 ⇒利用者さんの状態の変化に対応できる様、会議等で検討、周知しました。 ・温冷配膳車導入後の振り返りと更なる進化に努めます。 ⇒乾燥を防ぐ為に蓋をしたり、より良い状態で食べて頂ける様努力しました。 ・栄養ケアマネジメント実施で個々の利用者に適した食事提供に努めます。 ⇒個別の栄養管理に取り組み、定期的リスクを判定、確認し栄養状態の改善の為、多職種で情報を共有し健康維持に努めました。
相談研修課	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援セミナーを企画、運営し高齢知的障害者について情報発信、研修を企画、立案します。 ⇒「高齢者支援セミナー」の毎月開催や外部発表をし情報発信に努めました。 ・福祉人材育成として社会福祉士養成実習をはじめとした福祉教育実習の資の向上を目指します。 ⇒各種養成校からの実習や職場体験実習を受け入れ福祉人材の育成につながるよう努めました。 ・高齢知的障害者に特化したサービスの質の向上のため高齢知的障害者の支援と介護技術のための研修企画および生活の質の向上を目的に社会資源の活用をします。 ⇒実践で活かせるような内容を検討しながら研修企画をし、支援の質があがるよう努めました。 ・施設利用窓口として多様なニーズを抱えた利用者の相談に応え受入れを行えるよう努めます。 ⇒施設等のサービス利用に関する相談や移行支援、虐待等の相談についてニーズを伺いながら調整を図りました。
生活1課	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔な生活の場を提供に努めます。 ⇒寮内清掃、特にトイレの清掃、廊下など定時外での清掃を行うことができました。 加湿器の掃除、浴室の清掃をより丁寧に行いました。 ・人権に配慮した支援に努めます。 ⇒虐待防止の取り組みとして、課会議でテーマに沿った意見交換を行ない、食事介助や移乗等の介護技術の向上に努めました。 ・余暇を工夫し、楽しい時間の提供に努めます。 ⇒外出の機会が少なくなりましたが、出前を利用して昼食時間をゲストハウスでゆっくり過ごすように努めました。 ・医療と連携し、安心な暮らしに努めます。 ⇒日々のバイタルチェックなどのデータをもとに看護課と連携し早めの対応に努めました。 ・口腔ケアで誤嚥防止に努めます。 ⇒忙しい中でも歯磨きを丁寧に行うよう心がけました。
生活2課	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の振り返りや見直しを定期的に行い、虐待防止や人権擁護について、意識の向上や理解を深めます。 ⇒意思決定支援を実施している利用者の経験を活かし、他者の意思の吸い上げを行っていく。虐待防止について課会議で月1で実施。人権擁護に対し深く考え、振り返る事もできた。 ・高齢利用者が安心・安全な暮らしができるよう環境整備に取り組み、丁寧な支援の意思を高め、事故防止に努めます。 ⇒事故が起きてからの対応になり、原因不明の事故が多い。入浴は、マルチ浴の方が安全。改善必要。 ・余暇の充実を図る為、個々の楽しみやニーズをくみ取り細かくアセスメントし記録に残していきます。 ⇒ニーズに関する記録はあるが、十分ではなかった。記録をしっかり残す事を今後活かしていく。 ・知識の習得及び技術、観察力や気づきの更なる向上を図り、課全体において支援の質を高めます。 ⇒事故等物事が起きてから動くのではなく、原因・分析を事前に行えると良かった。 記録、個別支援計画が薄いので、研修等必要と感じる。 ・利用者個々の既往歴の把握や情報収集によって疾病の早期発見や治療に繋がります。 ⇒早期発見により救急搬送は減った。次年度は、新たに情報を得た疾病の情報が途切れないようにしていきたい。

生活3課	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化する利用者の状態把握と健康上のニーズに応じた支援の充実に努めます。 ⇒きめ細かいバイタルチェックの積み重ねから、早期の体調不良や変化に対応しました。 ・「生きがい」や「楽しみ」を感じられる場の提供に努めます。 ⇒ニーズに応じた日帰り・一泊旅行を提供し、生きがい及び楽しみを実感して頂きました。 ・リスクの情報共有と記録分析に注力し、必要に応じて即応しつつ、予防に努めます。 ⇒、年末年始にかけて相次いだ転倒事故を教訓に、改めてヒヤリハット報告の重要性を再認識し、再発防止に努めました。 ・生き辛さを抱えた方々の安定した生活基盤を築きながら、支援技術の向上を目指します。 ⇒各利用者の経済基盤に即したサービスを提供し、意思決定を重視した支援に取り組みました。 ・新体制において、サービスの質や安全性の向上を図りつつ、安定した業務体制の確立を利用者ニーズに合わせた形で実現します。 ⇒事故検証委員会の意見を取り入れ、業務マニュアル等も見直し、業務体制の安定化を図りました。
日中支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・「日中の過ごし」の充実、利用者満足度を上げる取組みをします。 ⇒プログラムの見直し等適宜実施し、利用者が満足できるよう活動内容の改善・拡大に向けて取組みました。 ・地域住民や事業所等との交流・貢献を図ります。 ⇒施設連絡会への参画や地域コンサートや行事等へのボランティアのコーディネートを図りました。 ・課体制の改善及び職員のスキルアップを目指します。 ⇒毎月の会議を通して業務内容の見直しや効率化を図りつつ、専門知識・技術、人権・権利擁護について意識の向上に努めました。
看護課	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢に伴う身体機能の低下防止や健康の維持・増進を図ります。 ⇒定期健診や受診を行い利用者の健康管理・職員への助言を行った。移行支援、緊急通院や入院などの受け入れてくれる医療機関の連携には厳しい状況がありました。 ・安全な医療的ケア研修実施が出来るよう職員のスキルアップを目指します。 ⇒年間計画の沿って手技の見直し・手洗い・座学の振り返りなど行った。職員一人ひとりが振り返り確認することに取り組みました。また基礎研修よりの受講職員については生活課と調整を研修申請・実施しました。
地域生活支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の地域生活を支える体制作りをしていきます。 ⇒外部資源と連携を密にし、余暇の充実を図り地元自治会活動に積極的に参加しました。 ・入居者本位の支援を推進していきます。 ⇒成年後見人選任1名、新規利用3名、体験利用随時受けました。 ・支援者のスキルアップをしていきます。 ⇒世話人研修、緊急時対応訓練、非常勤研修を実施しました。
相談支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本位の「寄り添う」相談支援をしていきます。 ⇒傾聴を基本とし、様々な角度からの分析に努め、より良い支援に繋がりました。 ・相談支援専門員の資質向上を目指します。 ⇒3障害全てにおいて障害特性、制度等の理解に努め、支援に繋がりました。 ・他職種・他事業所との協働をしていきます。 ⇒地域包括ケア社会実現に向け、他事業所との連携を密に図りました。
厚木市身体障害者等生活介護事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援の充実に努めます。 ⇒自治会や一人ひとりの利用者の声を尊重し、「自立支援プログラムの充実」「外出の企画」「活動内容の見直し」等実施しました。 ・権利擁護・虐待防止への取組みの推進に努めます。 ⇒年に2回満足度アンケートを実施し、結果を受けて見直し、より丁寧な支援を心掛けました。 ・スキルアップへの取組みに努めます。 ⇒「人権研修」「高次脳機能障害」等、幅広い内容で職員の希望に沿って、職員一人1回以上研修に参加しました。介護福祉士等の福祉系の資格に多くの職員が挑戦し、資格を取得しています。 ・ボランティア活動の推進に努めます。 ⇒「とまと」へのリピーターが増え確立し、毎月2回以上のボランティアの来所。福祉系の学校にボランティアの募集のチラシを配布したことで、興味を持たれた学生が10名参加しました。

11 人権・権利擁護

(1) 取組内容

ア 人権委員会

(ア) 目的

権利擁護に関する諸活動を行なうことにより、利用者固有の尊厳を尊重することを目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・2か月ごとに 人権・権利擁護目標を設定し周知徹底の後、振り返り及び効果の検証をした。
- ・オンブズマン相談会の運営に協力し、利用者の意見や要望を多くみ取れるように尽力した。
- ・ご家族含め満足度調査を実施し、集計及び精査をし、開示及び支援に活かすようにした。
- ・人権意識向上につながるよう、委員会主催の人権擁護研修を開催した。

イ 虐待防止委員会

(ア) 目的

虐待防止に係る体制作り、チェックとモニタリング、虐待(不適切な対応事例)発生後の対応及び再発防止を図ることを目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・各課、課会議にて虐待防止の振り返りを議論し取組みを虐待防止委員会に報告し虐待防止、意識の向上に努めた。
- ・オンブズマン相談会を毎月実施し利用者からの声を直接聞いてもらうように努めた。
- ・人権チェックリストを各自実施し人権擁護、虐待防止に努めた。

ウ 利用者自治会委員会

(ア) 目的

会員相互の親睦融和を図りながら、生活をより豊かなものへとする為に、様々な行事を企画します。また、会員の要望に基づき園に対して意見具申等を行うことを目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・各課自治会(ひまわり会)を月に1回開催し、利用者からの意見を多くみ取れるように配慮した。
- ・役員を中心に園内行事の役割(司会等)を担ってもらい、利用者が主役の行事になった。
- ・自治会を通じ、利用者からのニーズに応じ、訪問販売(衣類)やコンサートを実現した。

(2) 苦情・要望報告

		苦情・要望内容区分					合計
		職員接遇	サービス内容	施設・整備	被害・損害	その他	
申出 人	利用者本人	1					1
	家族	0					0
	その他	1		1		1	3
	計	2	0	1	0	1	4

(3) 人権・権利擁護目標・効果

月間目標		効果
4月	あいさつが育む出会い助け合い。	・コミュニケーションの第一歩ということに立ち返ることができ、気持ちの良い挨拶がお互い素敵な一日を過ごすためには必要であることを再確認ができた。
5月		
6月	身だしなみに配慮した支援をしましょう。	・季節感、清潔感に配慮した支援を心掛けることができた。 ・利用者の服装、職員の身だしなみは職員の支援姿勢が反映していることを再認識した。
7月		
8月	相談のできる雰囲気をつくっていこう。	・相談できる雰囲気って何？をテーマに意見交換から取り組みました。 ・お互いが相談できるようになるには、まず、信頼関係構築が必要であることに気付くことができた。
9月		
10月	先入観や思い込みのない支援をしよう。	・経験の積み重ねが先入観や思い込みに繋がってしまう可能性があることに気付いた。 ・先入観にとらわれないようにするには、本当にそうであるのかを意識するようになった。
11月		
12月	安心して生活できる環境を整えましょう。	・リスクマネジメント的な視点で支援を心掛けることができた。 ・人権擁護の根底には「安心・安全の保障」があることに気付けた。
1月		
2月	自己決定しやすい環境を整えましょう。	・自己決定及び選択をしてもらえよう心掛けたが、自己決定の場面を増やすことや、選びやすい選択肢を提示したり等、合理的配慮をしたり、自己決定支援の個別性に目を向け支援することの難しさも実感した。
3月		

12 危機管理・安全対策

(1) 取組内容

ア リスクマネジメント委員会

(ア) 目的

利用者支援、施設整備面における事故防止対策の確立。事故発生時の対応及び利用者の人権尊重の立場に立ったサービスの質の向上に向けたシステム構築を図ることを目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・危険予知訓練「ひやりはっと報告」レベル2以上について予防策を考えました。
- ・「事故報告」のデータ分析を行い再発防止に向け話し合いました。
- ・各課において、生活環境の整備、改善に努めることで事故防止対策の確立に努めました。

イ 防災委員会

(ア) 目的

職員に対して防火、防災意識を徹底させて、指導や管理を行う。また、防災訓練・研修を通じて、園内の構造及び避難施設に関すること等、必要な事項について取組むことを目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・毎月1回、火災・地震等、さらに昼間や夜間を想定した防災訓練を実施しました。
- ・土砂災害危険区域に入っていることもあり 災害を想定した避難訓練を行いました。
- ・災害発生時に備えた必要な防火備品および非常食材の入れ替え、炊き出し訓練を行いました。
- ・法人総合防災防犯訓練にへ参画

(2) 事故防止等対策

- ・防犯対策マニュアルの周知啓発および不審者侵入緊急初動マニュアルを各課に掲示しました。
- ・防犯対策チェックリストを毎月各課で実施し法人危機管理委員会へ報告を行いました。
- ・園内防犯訓練でALSOK隊員による「まもるっく」「赤外線センサー（機械警備）」の説明と作動訓練を行いました。

(3) ひやりはっと報告

									(件)
報告数	負傷	服薬	誤嚥	誤飲食	物品破損	物品紛失	所在不明	医療	その他
498	187	133	28	11	10	52	33	29	15

(4) 事故報告

										(件)
報告数	怪我		誤与薬		誤飲食	誤嚥	所在不明	医療処置	物品破損	病氣入院・死亡
	骨折	やけど・傷・目撃等	飲ませ間違い	飲ませ忘れ・飲みこぼし						
51	10	11	2	22	0	0	1	0	0	5

(5) 防災・防犯訓練実施報告

実施日	訓練内容	担当
4月3日	新採用・異動職員への消防設備等の説明	総務課
4月23日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活1課
5月24日	グループホーム避難訓練（そら）	地域生活支援課
5月24日	シェイクアウト訓練、防犯機器使用手順確認、避難訓練	生活2課
6月29日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練 放水訓練	生活3課
7月31日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練 防犯訓練	日中支援課
8月29日	浸水害、土砂災害想定避難訓練	生活1課
9月27日	グループホーム避難訓練（ひのき）	地域生活支援課
9月28日	避難、誘導、炊き出し訓練	総務課
10月29日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難（夜間想定） 放水訓練	生活3課
11月26日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	日中支援課
11月30日	グループホーム非常勤職員対象、火災報知器使用方法	地域生活支援課
12月26日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練 消防設備等の説明	生活2課
12月30日	グループホーム避難訓練（そら、めい） グループホーム非常勤職員対象、火災報知器使用方法	地域生活支援課
1月28日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練 消防設備等の説明	日中支援課
1月29日	グループホーム避難訓練（ひのき）	地域生活支援課
2月27日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活1課
3月28日	グループホーム避難訓練（ひのき）	地域生活支援課
3月28日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活3課

*アルソック安否確認メールは毎月実施

13 職場研修実績

(1) 園内研修

(名)

研修名	開催日	参加人数	備考
新採用・異動職員研修	4/3.4	20	
新採用・異動職員フォローアップ研修	7/9.25	24	
おむつのあて方研修	10/10.22	12	
非常勤研修	5/21.23.28. 11/19	43	
交通安全研修	4/27	36	
普通救命講習	6/14.18	34	
メンタルヘルス研修	7/27.8/20	45	
腰痛予防研修	9/28	25	
感染予防研修	10/18	23	
基礎研修 白内障支援の取組	11/29	7	
非常勤メンタルヘルス	8/21. 10/23	19	
家族会研修	1/12	46	
人権研修	1/30	40	
認知症の病態とダウン症	7/17	22	
記録の書き方研修	1/30	40	
佛子園報告	5/30	47	
合計	25	483	

(2) 外部研修

(名)

研修名	開催日	参加人数	備考
県部課長会・主任者会支援会 支援スタッフ部会例会	9/21	1	
神奈リハ支援センター研修	6/20・27	2	
サービス管理責任者補足研修	①6/28-29 ②1/23, 3/7-8	2	
サービス管理責任者研修	①1/25, 2/21-22 ②9/19-20 ③10/4-5	5	介護分野①1名 ②1名 ③2名
関東地区知的障害福祉関係職員研究大会	7/13-14	1	
医療的ケア研修	5/19, 6/2, 8他	5	
人権研修	①4/25 ②6/27	6	①1名②5名
障害福祉施設協議会新任職員研修会	11/7	2	
日中活動支援部全国大会	11/29-30	2	
安全運転管理者研修		1	
応急手当普及員講習会(新規)	7/31-8/2	5	
応急手当普及員講習会(再講習)	6/7	2	
福祉職専門研修(基礎Ⅰ)	8/2, 31	1	
福祉職専門研修(基礎Ⅱ)	9/	1	
福祉職専門研修(中堅)	8/21, 9/6	1	
県強度行動障害支援者養成研修(基礎)	7/25-26	1	
県強度行動障害支援者養成研修(実践)	2/26-27	1	
強度行動障害支援者養成研修(実践)	①2/5, 12 ②2/15, 22	3	①2名②1名
強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)	2/1, 8, 15, 22	1	埼玉県
県立施設間交流研修	11/5-6	1	さがみ緑風園
全国知的障害者関係職員研究大会	11/14-15	1	山口大会
触法研修	8/27-28	1	
全国グループホーム等研修会	9/3・4	1	愛媛県
県障害福祉職員実践報告会	12/17	1	
相談支援専門員初任者研修	6/11-12, 26-27 7/18-12/20	2	プレ研修、初任者研修
相談支援専門員現任者研修	6/21-9/20 10/17-1/16	3	
障害者支援区分認定調査員研修	4/25	1	
リフトフェア2018	8/2-4	1	
津久井やまゆり園利用者意思決定支援チームに対する研修	①5/11②9/11 ③2/27	11	①3名 ②5名 ③3名
障害福祉施設等防犯研修	8/8	1	
喀痰吸引		5	
高齢者支援セミナー		305	毎月1回開催
オープンセミナー	12/11	46	
医療的ケア指導看護師 フォローアップ研修	11/4	1	
合計		423	

14 ボランティア活動受入実績

(1) 行事

名称	内容	活動日	(件) (名)	
			件数	人数
厚木市民吹奏楽団演奏会	演奏会	4月29日	1	22
ふれあいフェスティバル	模擬店補助	5月12日	1	7
地域交流レクリエーション	利用者交流(カラオケ)・昼食	5月31日	1	4
デザートテラス	茶菓子提供補助	6月20日	1	2
夏まつり2018	模擬店補助等	7月11日	1	6
長寿の祝い	利用者支援補助、調理補助等	9月5日	1	12
ラ・フェスタ	利用者支援補助、調理補助等	10月6日	1	29
地域交流レクリエーション	創作活動・昼食	11月7日	1	0
クリスマス会	利用者支援補助、調理補助等	12月12日	1	0
デザートテラス	茶菓子提供補助	2月6日	1	0
ボランティア懇談会	懇談・昼食会	3月18日	1	2

(2) 日常

内容	活動日	(件) (名)	
		件数	人数
日中活動支援 ・活動支援、作業補助	随時	0	0
日中活動支援 ・刺し子	月2回程度	22	22
余暇活動 ・喫茶おはなし	月1回程度		15
余暇活動 ・ファミリーマート売店	月1回程度	8	21
日中活動支援 ・清掃	随時	0	0
余暇活動 ・ガイドヘルパー外出	随時	6	10

15 実習生・研修生等受入実績

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		聖ヶ丘教育福祉専門学校 1名 (11日間) 6/4-6/15																													
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
		鶴見大学短期大学部 2名 (11日間) 8/6-8/18											國學院大学2名 (12日間) 8/20-9/1																		
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		鎌倉女子大学 1名 (11日間) 9/3-9/15											日本福祉大学 1名 (24日間) 9/18-10/20																		
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
		日本福祉大学 1名 (24日間) 9/18-10/20											県社協介護等体験 10/22-26 (5日間)					県社協介護 10/29-11/2													
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
		等体験																													
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
		YMCA健康福祉専門学校 2名 (11日間) 12/10-12/21																													
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
													聖セシリア女子短期大学 2名 (10日間) 1/21-1/31																		
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木			
													和泉短期大学 2名 (12日間) 2/12-27																		
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		湘北短期大学 2名 (10日間) 3/4-3/15																													

16 地域サービス事業取組結果

No.	事業名	事業内容	取組結果
1	専門スタッフ地域巡回支援事業	PT(理学療法士)や看護師、相談専門員が事業所を訪問し、医療的ケアの最新情報や支援技術についての情報提供及び機能訓練等を行い、地域生活を支える。	・PT講師による高齢者支援セミナーを8月に実施、延べ28名参加。
		地域住民や福祉関係職員・利用者等を対象に応急手当普及員有資格職員を派遣し、心肺蘇生法・AED使用方法等の講習会を実施する。	・一次救命処置講習会をグループホームや他施設に応急手当普及員を派遣:4回/27名参加。 ・普通救命講習会を他施設や厚木地区世話人研修に応急手当普及員を派遣:月4回/65名参加。
2	地域防災拠点施設事業	厚木精華園近隣の災害弱者の福祉避難所として機能整備する。	・非常用エアマットを購入する。 ・研修や展示会に参加し、防災備品や災害時の知識等を学ぶ。 ・荻野地区の5協定施設で災害時の協定施設機能を発揮するための連携組織「荻野地区協定施設連絡会」を設置、厚木市役所危機管理課と協働する。
		消防署・市危機管理室・自治体と連携し、壊滅的な災害に備えた防災訓練を実施する。	・地域と連携した防止訓練は行わず、昨年度実施した「避難所会場を担う小・中学校を含め関係機関を構成メンバーとする荻野地区みんなで安心まもり隊を組織し、平成30年3月4日に鳶尾4丁目を対象とした避難訓練」について広報した。
3	地域交流・社会参加支援事業	地域の住民や在宅障害者を対象にコンサート、外出等を開催し、地域交流を図る。	・地域コンサート:1回開催・95人参加。 ・近隣の小学校と協働し、小学3年生70名と教諭3名を園に招き、交流を図った。

Ⅱ 各課事業報告

1 総務課

社会福祉法人制度改革により、ガバナンスの強化として会計監査人が設けられ公認会計士による会計監査を受け、適正かつ効率的な会計実務を学びました。

経営会議を年3回開催し利用者の安心・安全で豊かな暮らしを支えるために、外出計画や備品更新並びに修繕計画を検討し計画的な予算執行に取り組みました。また、神奈川県による計画営繕としてエレベーター1基更新等の対応にも取り組みました。

GHにおいては、神奈川県自動車会議所車両の寄贈申請を行い、軽自動車の入替を行い利用者支援の充実に努めました。

厚木身体障害者等生活介護事業所においては、利用者の入浴支援充実のために特殊浴槽の更新を行いました。

備品更新並びに主な改修は以下の通りです。

* 備品更新

【指定管理施設】	【自主事業】
調理課：カッターミキサー、コマーシャルブレンダー	GH：軽自動車
生活課：エアコン	厚木身体障害者等生活介護：特殊浴槽
日中課：製氷機	
全体：ソファー	

* 主な改修工事

法人施工	県施工
居住棟 1.2階 EVホール床等シート浩治	冷温水発生機更新
居住棟 1階 居室証明等修繕	エレベーター1基更新
居住棟 1階 エアコン改修	二酸化炭素消火設備更新
居住棟屋上転倒防止策改修	
居住棟 2階 塗り壁改修	
手摺改修	
消防設備修理	
管理棟防火シャッター並びに非常照明改修	
管理棟中庭改修並びに段差改修	

2 栄養調理課

『スパイス愛で調理』

厚木精華園の食事は利用者に寄り添った『安全』『安心』そして、『感動』をお届けしてまいりました。

(1) 29年度温冷配膳車導入

日中支援課に温冷配膳車を導入で全課に適温提供の実現に至りました。冬は温かい食事提供の実現、夏は冷たいデザート。食欲をそそる爽やかな冷やし中華等の提供で利用者へのサービス向上を図りました。



(2) 食事形態の改善と調理方法の工夫

高齢で嚥下機能が低下していく利用者に寄り添った食事は安全を第一に味、見た目の美しさを考慮して調理しています。

食事形態の特徴

- ア 「口どけ食」喉をスルーと落ちていく嚥下困難な利用者に安心、安全な食事として当園には欠かせない嚥下食です。
- イ 「トロミ食」は口腔内でばらけないように硬すぎず柔らかすぎない調理法です。
- ウ 「カット食」は普通食の形態をさらに食べやすくカットをしました。
- エ 「普通食」でも利用者さんには合わせた調理方法です。食べやすい大きさにカットします。煮物などは舌でつぶせる硬さです。

(3) 医療対応食の実施

糖尿病、脂質異常症、高血圧、腎臓病、低残差、塩分制限等の医療食を医師の指示により実施しました。

(4) 食事形態別食数 厚木精華園の入所者のみ

普通食 1800Kcal～1600Kcal 30名・カット食 22名・トロミ食 7名・口どけ食 7名
制限食 1400Kcal～1000Kcal 11名・カット食 19名・トロミ食 9名・口どけ食 6名

(5) 嗜好による個人対応の実施で食事への不満を解消しました。

嫌いな食べ物、食べづらい物は利用者ご本人からのご希望に沿った食事の提供を実施しています。

(6) 利用者『喫茶プティ招待』

後援会からの補助金事業。『喫茶プティ招待』とは、栄養調理課職員が入所者、グループホーム、生活介護利用者の方々を6名から10名招待し、職員食堂で午後2時から3時の一時間内で行う内容は、手作りお菓子や飲み物を囲んで談笑、風船バレー、伝言ゲーム、歌を唄い楽しい時間を過ごしました。

30年度『喫茶プティ招待』は年に6回実施しました。



(7) 『行事食』と『季節食事』の実施

- 9月 『長寿の祝い』高齢者施設ならではの行事、皆さんが食べやすいように調理された食事でお祝いをしました。
- 9月 『秋分の日』おはぎ3種を昼食で提供しました。「口どけのおはぎ」も大好評でした。
- 12月 厚木精華園クリスマスパーティー『クリスマススペシャル料理』でクリスマスを楽しみました。
厚木身体障害者等介護事業所『とまと』のXmasパイキングの厚木精華園にて実施しました。
- 12月 26日 年越しの天婦羅そばを提供しました。
- 30年 元旦 朝食は、雑煮、いくらの和え物などで新年を迎えました。
昼食はお刺身豪華盛り合わせ、お赤飯、伊達巻、数の子の紅白なます、お吸い物を提供しました。
- 1月 7日 朝食 七草粥を提供しました。
- 1月 各課新年会 お刺身、天ぷらとお正月料理でお祝いをしました。
- 1月 鏡開きでお汁粉を提供し、「口どけ食のお汁粉」を提供大好評でした。
- 2月 節分 小粒の甘納豆で「鬼は外！」をしました。
- 2月 春分の日 昼食はおはぎ3種を昼食。「口どけ食のおはぎ」も提供しました。

季節ごとの日本の食文化を提供しました。

3 相談研修課

相談研修課は、研修に関する主な業務として「高齢者支援セミナー」を企画、運営をはじめ、園内研修の実施や職員派遣研修に関することを行い人材育成が図れるよう取り組みました。また相談に関する業務として、多様なニーズを抱えた利用者の相談業務、短期利用相談等、施設利用に関する相談をはじめ、移行支援の調整など様々な業務を行っています。他、外部講師派遣や施設見学対応、各種実習生等の受入を行いました。あわせて利用者さんの余暇の充実の一環として「喫茶おはなし」を開催しました。

(1) 高齢者支援セミナー

高齢者の支援に関するセミナーとして厚木精華園が主催し、年12回開催しました。平成30年度は「高齢者を知る」をテーマに実施し、40団体の登録があります。

	日程	テーマ	講師	参加人数
1	4月18日	オムツのあて方	リブドコボレーション 山口照美氏	10施設 15名
2	5月16日	高齢知的障害のある方の地域での暮らしについて	厚木精華園 地域支援課 奥池誠治氏	14施設 22名
3	6月28日	高齢研合同セミナー 栄養士から考える食事提供や食事支援について	パネディスカッション	23施設 43名
4	7月18日	高齢者の摂食嚥下機能と誤嚥予防 ～見逃してはいけないサイン、食事の工夫、 嚥下体操～	稲城台病院 院長補佐 吉村直美氏	17施設 25名
5	8月22日	身体機能の変化の関わり方 ～ボディメカニクス（PTの取り組み）の理解～	厚木精華園 理学療法士 猪熊愛氏	19施設 28名
6	9月18日	成年後見制度 ～後見人業務を正しく理解し、支援に生かす～	桜行政書士事務所 山田沙耶氏	17施設 21名
7	10月17日	医療保険による医療マッサージの導入 ～精神面と身体面へのアプローチ と得られる効果～	アメニティーサービス 所長 上原礼児氏	17施設 29名
8	11月21日	高齢研合同セミナー 認知症について正しく理解する	厚木市荻野地域包括 支援センター管理者 畑武子氏	18施設 31名
9	12月19日	高齢者の感染症について	厚木精華園 看護課長 福岡君代氏	13施設 18名
10	1月16日	褥瘡ケアについて	東名厚木病院 看護主任 齋藤祐子氏	17施設 22名
11	2月20日	高齢者の食事について	厚木精華園 栄養調理課長 今井克也氏	14施設 28名
12	3月16日	口腔ケアの基礎知識	厚木市歯科医師会 淡路薫氏 溝口真紀子氏	11施設 16名

(2) 外部発表

高齢者の支援に関する外部発表を行いました。

	日程	テーマ	講師	研修開催主体
1	8月10日	地域連携による防災対策	今井部長	厚木市社会福祉 施設連合会
2	9月14日	グループホーム開設説明会	奥池課長 城所主任	かながわ福祉サービス 振興会
3	9月18日 11月15日	高齢知的障害者支援	今井部長	NPO法人 かけはし
4	12月3日	高齢知的障害者への支援	平峰園長	愛知県知的 障害者福祉 協会
5	12月8日	みんなで守り隊	今井部長	基幹相談支 援センター
6	3月11日	津久井やまゆり園利用者意思決定支援実施要領に基づく 意思決定支援チームに対する研修にかかる事例報告	田中課長 濱田支援員	県福祉子どもみ らい局福祉部共 生社会推進課

(3) 園内研修・派遣研修実績

	研修テーマ	回数	人数
園内研修	新採・異動職員対象研修	2	20
	上記フォロー研修	2	24
	人権擁護研修	1	40
	腰痛予防講習会	1	25
	おむつのあて方研修	2	12
	非常勤研修	4	43
	普通救命講習	2	34
	メンタルヘルス	2	45
	感染予防	1	23
	交通安全研修	1	36
	成年後見制度		
	基礎研修 白内障支援の取り組み	1	7
	認知症の病態と ダウン症	1	22
	佛子園報告	1	47
	家族会研修	1	46
	非常勤メンタルヘルス	2	19
	記録の書き方	1	40
	合計	25	483

①

園主催研修 (外部向け)	高齢者支援セミナー	12	305
	オープンセミナー	1	46
合計	13	351	

②

	研修テーマ	回数	人数	
派遣研修	応急手当普及員関係	2	5	
	全国知的障害福祉関係 施設長等会議	2	1	
	相談支援従事者初任研修	2	2	
	相談支援従事者現任研修	1	3	
	支援区分認定調査員研修	1	1	
	サービス管理責任者関係	7	6	
	人権研修	1	7	
	知的障害福祉関係 職員研究大会(関プロ)	2	1	
	矯正施設退所者受入 関連研修	2	1	
	全国GH・CH等研修会	2	1	
	人権関連 権利擁護・意思決定支援	3	10	
	リフトウエア	3	1	
	医療的ケア関係	10	5	
	福祉職専門研修	1	1	
	福祉職専門研修	5	3	
	防犯研修	1	2	
	四園交換研修	4	2	
	安全運転管理者	1	1	
	外部新人研修	1	2	
	強度行動障害支援者養成	4	6	
	知的障害福祉関係職員研 究大会(全国)	2	1	
	県障害者虐待防止 権利擁護研修	1	1	
	日中活動支援部 全国大会	2	2	
	実践報告	1	1	
	喀痰吸引研修	3	5	
	医療的ケア指導看護師 フォローアップ研修	1	1	
	県立施設交換研修	1	1	
	リスクマネジメント ・個人情報保護	2	4	
	その他	6	5	
	合計	74	82	
	総合計	①+②+③	112	916

(4) 短期入所事業 日中一時支援事業

30年度の短期入所事業の利用者の特色として中高齢期の在宅の方でご家族の高齢化により家庭で継続して過ごすことが難しくなった方の緊急的に受け止めやご家族のご病気による受入、重複障害のためハード面で術後安定するまでの間の受入や被虐待者の受入、身体状況の変化から在宅生活が難しくなってきた方の利用が目立ちました。平成18年10月より行っている日中一時支援事業は、厚木市、愛川町とそれぞれ委託契約を結んでいます。

ア 月別短期入所状況

(単位：人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	人	3	8	7	7	5	3	4	5	4	4	4	4	58
	日	12	85	47	89	20	24	22	48	20	24	33	35	459
女	人	1	2	6	4	4	6	4	4	3	4	5	7	50
	日	30	35	48	49	45	43	42	36	39	38	39	42	486
計	人	4	10	13	11	9	9	8	9	7	8	9	11	108
	日	42	120	95	138	65	67	64	84	59	62	72	77	945

イ 市町村別短期利用者状況

(延べ人数)

区分	厚木市	伊勢原市	相模原市	秦野市	海老名市	小田原市	平塚市	愛川町	座間市	松田市	綾瀬市	葉山町	川崎市	藤沢市	計
男	144	0	33	7	52	8	3	138	5	69	0	0	0	0	459
女	53	3	15	7	0	0	3	0	36	2	0	0	365	2	486
計	197	3	48	14	52	8	6	138	41	71	0	0	365	2	945

ウ 月別日中一時状況

(単位：人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	男 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 人	0	1	0	1	0	0	1	0	3	0	0	1	7
	計 人	0	1	0	1	0	0	1	0	3	0	0	1	7

(5) 相談支援

相談研修課のケースワーカーを中心に、相談の受け付けを行いました。入所相談が中心で、短期入所へのほか、平日、日中活動の場として生活介護や日中一時支援を希望する方の相談がありました。市町村や指定相談支援事業所の窓口との連携、他施設との情報交換を十分に行っていくことが不可欠となっています。相談件数は以下に示す表の通りでした。他、移行支援にかかる調整も行いました。

相談支援の状況

(単位：件)

区分		厚木市	相模原市	秦野市	平塚市	小田原市	茅ヶ崎市	湯河原町	横浜市	座間市	海老名市	愛川町	清川村	川崎市	
相談・見学	男	37	9	26	10	19	1	0	4	13	9	16	0	16	
	女	50	5	11	5	2	4	0	0	11	0	2	0	11	
	計	87	14	37	15	21	5	0	4	24	9	18	0	27	
区分		綾瀬市	伊勢原市	藤沢市	葉山町	大磯町	松田町	横須賀市	三浦	逗子	山北	大和	県外	不明	計
相談・見学	男	0	0	3	0	0	10	4	0	0	0	7	3	1	188
	女	0	7	12	0	0	0	0	0	0	1	6	1	0	128
	計	0	7	15	0	0	10	4	0	0	1	13	4	2	312

(6) 施設見学

	日程	施設名	人数	備考
1	5月16日	高齢者支援セミナー	22	グループホーム見学
2	7月9日	新採用・異動職員フォローアップ研修	13	グループホーム・とまと
3	7月25日	新採用・異動職員フォローアップ研修	11	グループホーム・とまと
4	9月25日	NPO法人 かけはし	2	グループホーム見学
5	10月10日	社会福祉法人 ゼノ少年広場 なごみの家(広島県)	2	試食
6	10月23日	湯河原町地域作業所 たんぼぼ	6	
7	11月5日	綾瀬市大上地区社会福祉協議会	20	
8	11月12日	神奈川県知的障害施設団体連合会 医療看護研究会	30	
9	11月15日	さつき藤野工房	5	
10	11月27日	睦合地区地域福祉推進委員会	30	試食
11	11月27日	あおぞら学園(宮城県仙台市)	3	
12	12月5日	扶康會 FU Hong Society(香港の団体)	18	試食
13	1月21日	荻野小学校(交流会)	76	
14	2月28日	愛と喜び株式会社	3	試食
15	3月7日	NPO法人 三鷹はなの会	4	
計 団体			##	

その他見学 (相談者・実習生等) (件数) (人数)

合計	34件	81	
全体合計	347人	127	自主:6件 28人

③

(7) 実習生・研修生

	受入人数	受入述べ日数
保育実習	15名	176日
社会福祉士	1名	24日
社会福祉主事	0名	0日
その他	5名	15日

4 生活課

(1) 生活課の状況

1 課利用者状況

(単位：人) 平成31年3月31日現在

性別	女性38名（短期利用者および日中一時利用者は除く）							
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	7	3	7	8	8	4	1	38
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	0		2		7		29	
身体の状態	視聴覚	肢体等	吸引	胃ろう・経鼻	補装具	常時車椅子	外出車椅子	歩行器
	5	12	2	3	使用者	22	6	2

2 課利用者状況

(単位：人) 平成31年3月31日現在

性別	男性35名（短期利用者および日中一時利用者は除く）							
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	8	7	2	7	7	2	3	36
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	1		2		10		22	
身体の状態	視聴覚	肢体等	吸引	胃ろう・経鼻	補装具	常時車椅子	保護帽	歩行器
	4	11	3	3	使用者	21	6	3

3 課利用者状況

(単位：人) 平成31年3月31日現在

性別	男性34名（短期利用者および日中一時利用者は除く）							
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	11	3	5	7	6	0	2	34
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	4		9		13		8	
身体の状態	肢体等	その他	吸引	胃ろう・経鼻	補装具	常時車椅子	保護帽	歩行器
	3	2	0	0	使用者	7	7	0

生活課は3課体制で支援しています。1課が女性、2課・3課が男性で構成されています。利用者数は3月末現在、女性38名、男性70名となっています。

平成30年度は、入退院を繰り返す方や身体機能の低下（特に拘縮や褥瘡等）が多くみられました。また、知的障害に加え認知症的症状が進行する方も増えました。平成30年度は男性1名、女性3名がご逝去されました。また、常時医療が必要となり、男性1名、療養型病院へ移行されました。

利用者全体の介護内容が多様化・増加している中で、人生のラストステージを迎えようとしている利用者への個別支援をどう実施していくかが引き続き大きな課題になっています。

医療的ケアについては、法制度上、施設支援の限界があり、療養型病床群等への移行支援ニーズも高まっています。

(2) 食事

毎日の食事では栄養ケアマネジメントに取組み、利用者の嗜好を尊重した「個別対応食」や、嚥下困難な方への配慮（普通食、カット食、とろみ食、口どけ食等）を生活課、看護課、調理課との連携で進めてきました。また、食事支援を必要とされる方が年々増加しているため、より安全な環境で食事提供できるよう、定期的に食事席の見直しや介助方法の見直し等を行いました。

(3) 入浴

高齢化による急激な体調の変化、介護度、障害特性、交友関係などを考慮した上でグループ分けを行い、個々に最適と考えられる浴室（一般浴室、リフター付浴室、機械浴室）での入浴を実施しました。生活1課では午前と午後の2回実施とシャワーストレッチャーを週1回、生活2課では午後2箇所での2回の実施、生活3課では午後1回、夕食後1回の2回実施しています。利用者の重度化、高齢化に伴い機械浴での入浴者が増加傾向にあり、生活介護サービスの枠内で入浴が実施できる体制づくりを図ってきました。より「安全」で「快適」な入浴時間を提供できるよう、利用者数、職員数、回数等が適正かどうかを常に検討しました。

(4) 余暇・外出

個別のニーズに沿って支援を進めました。美容サービス（ネイル）、介護マッサージ等の定期利用の他、喫茶プティ・デザートテラス・ファミリーマート販売会・出張販売会・映画会・音楽会・カラオケ・レクリエーション等も余暇支援として取り組みました。

介護度の上昇、通院回数の増加等により外出の機会は減少しましたが、可能な限り個別での外部事業所の利用、職員等によるガイドヘルパー制度の活用により、その機会を最大限確保するよう努めました。また職員同行の外出は、昼食外出・買い物外出が大部分を占めましたが、本人の気持ちを汲み家族と調整を語り家庭訪問等も実施しました。好天の日には短時間でもドライブや園近辺の散歩等ができるよう日課を工夫しました。さらに外出できない方には、外食気分を感じていただけるよう出前をとり、ゲストハウス等を利用して日常と雰囲気を変えての食事場面も提供しました。利用者が楽しんで頂ける機会を少しでも多く確保できるよう努めました。

(5) 支援スキル向上への取り組み

理学療法士の指導の下、利用者の身体機能維持に必要な運動プログラムを学び、拘縮予防や介護予防に繋げています。また支援方法や介助方法が適切に行えているかを確認し、より安全で安心感を感じていただけるよう努めました。また、安定したサービスの提供ができるように支援方法や介助方法のマニュアルを作成し、情報共有と統一した支援を行いました。

(6) 福祉機器の活用

介護度の上昇に伴い、「利用者にとっての安心安全」「職員にとっての衛生管理」を両立させるべく、生活1課のリフター導入から4年を経過しました。利用者も職員も日々、当たり前のように利用しており 安全な使用を続けるためリフターのインストラクターの資格を取得した職員による講習を行っています。また、車いすに座っていることが多い利用者の為、イージーウォークを導入し浮腫み解消に役立てています。

5 日中支援課

平成 30 年度の日中支援課は定員 140 名で生活介護事業を行いました。利用者の契約状況として一般入所 104 名、共同生活援助利用者 20 名、在宅利用者 9 名となっています。(平成 31 年 3 月 31 日現在)

(1) サービス概要

サービス内容としては、生活介護を 3 つの空間『寮』『作業活動室』『デイルーム』に分け支援を行なってきました。

『寮』では、日中、寮で過ごしている利用者に対して機能維持活動や入浴等を中心とした介護・支援を行ないました。

『作業活動室』では、一般入所（寮）・共同生活援助・在宅利用者に対して生産・創作活動や余暇等を中心とした介護・支援を行ないました。

『デイルーム』では、一般入所（寮）・在宅利用者等に対して個別活動や入浴を中心とした介護・支援を行ないました。

また、食事についても利用者のニーズ・摂食状況に応じた食事内容、介助をと、利用者介護・支援についての『安心・安全』を最優先にしながら、より良い「日中の過ごし」が提供できるように取り組みました。

平成 30 年度月別利用者状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均
営業日数	22	23	22	23	23	20	23	22	21	21	20	22	
利用者数 (延べ)	2750	2856	2772	2876	2916	2424	2928	2762	2609	2547	2402	2669	2709.3

(2) 年間目標

ア 「日中の過ごし」の利用者満足度を上げる取り組みについて

介護・支援等の取り組み内容の見直しを適宜実施し、利用者のニーズに応じたより良い介護・支援を目指しました。

理学療法士のアドバイスの基、機能維持に向けた活動を実施しました。

イ 地域住民・事業所等の交流・貢献について

ボランティアのコーディネート業務を円滑に行ない、ボランティアの継続参加に努め、施設連絡会行事への参画、地域コンサートの開催等にて地域住民・他事業所との交流を図りました。

ウ 課体制の改善及び職員のスキルアップについて

会議等にて業務内容の見直しや効率化を図り、専門技術・知識、人権・権利擁護の意識向上に努めました。

(3) 週間プログラム

◆ 寮

機能維持活動や入浴を中心に介護・支援を行なってきました。

- ・機能維持活動については、福祉機器を使用したり、理学療法士からのアドバイスの基、日々取り組める活動を行なってきました。
- ・入浴については、一般浴、マルチリフター浴及び機械浴を実施しました。特に機械浴については、利用者の身体的負担が軽減され、利用ニーズが高くなっています。
- ・理美容については、理容・美容合わせて月4回実施しました。園内理美容室までの移動が困難な利用者に対しては、理美容師が寮まで出向いて行ないました。

◆ 作業活動室

午前は生産活動を中心に、午後は曜日毎のプログラムに合わせて介護・支援を行なってきました。

- ・生産活動については、「働きたい」という気持ちを大切に、利用者一人一人の希望、作業能力に合わせて作業の提供をしました。内容としては、「アルミリサイクル」「DVD・CD解体」を中心に行いました。
- ・曜日毎のプログラムについては、機能維持活動として高齢化に伴う身体機能低下及び廃用症候群の予防を目的とし、理学療法士の指導に基づいた職員による機能維持運動などを実施しました。
また、余暇的な活動として、カラオケ・映画会とそれぞれ週1回、作業活動室で定期プログラムとして取り入れ、実施しました。
- ・創作活動においても、それぞれ月1～2回、外部より講師・ボランティアを招いて作業活動室で実施しました。絵手紙については、参加者の作品を園内外等に展示しました。刺し子も定期的に行ないました。

◆ デイルーム

機械浴や個別での活動を中心に介護・支援を行ないました。

- ・理学療法士のアドバイスの基、機能維持やリラクゼーションを中心とした支援を実施しました。また、個別に関わりながら、作業活動室にてコミュニケーションを含め、余暇・創作活動等集団活動にも参加しました。

*他、売店（ファミリーマート）、音楽レク、喫茶おはなし等の余暇的な活動も実施しました。

◇ 地域交流関連事業

コンサートや施設連絡会行事に参画し、地域交流等にも努めました。荻野小学校3年生70名と園内の見学・体験等を中心とした交流会を行ないました。

◎送迎

厚木市在住の共同生活援助利用者、在宅利用者に対して実施しました。安全・安心できる運転を心掛けました。

6 看護課

(1) 診療業務及び受診状況

厚木精華園診療所の役割は、利用者の健康管理と診療業務です。診療業務は継続して神奈川リハビリテーション病院の協力を得て行いました。

(2) 年間業務

年度の計画に基づき健康診断及び諸検査などを以下の内容で行いました。前年度と変わりなく実施できました。異常時には外部医療機関を受診して検査や治療、医療的フォローを実施しました。

ア 健診業務 内科（一般聴打診・血圧測定・心電図・身長・体重）

胸部レントゲン撮影（1回/年）

内科健診は誕生日健診と6ヶ月後に実施

耳鼻科、眼科、乳癌検診

イ 検査業務 血液検査（血清、生化学、薬物血中濃度）

腫瘍マーカー検査 便潜血

尿検査（尿一般、）

脳波検査（医師から指示ある人のみ）

(3) 日常業務

ア 観察

体調を十分に訴えることが難しい高齢知的障害者の健康把握のため、支援員から利用者の健康状態についての情報提供を受けながら、観察を行いました。また医療職員と支援員が同じ視点で利用者の健康状態について、共通認識をもちながら密接な連携が保てるように心がけました。

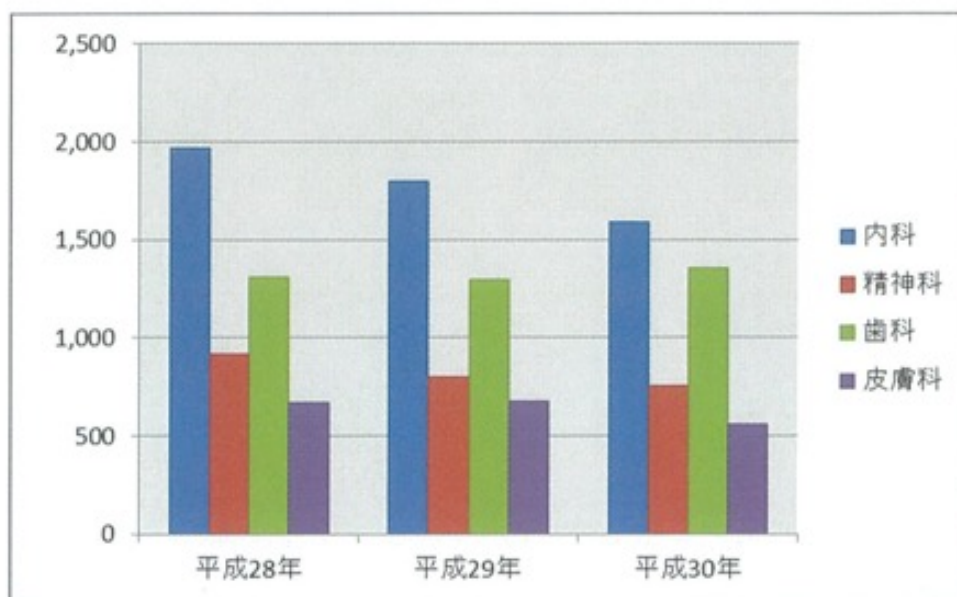
イ 園内診療状況

各科の診療は月間予定表を作成して計画的に行うことができました今年度の総診療件数 4255 件であり、前年度より 318 件の減少結果となっています。統計資料による各科の前年度比は次のとおりでした。

診療件数

診療科 年度	内科	精神科	歯科	皮膚科	眼科*	総診療件数
平成 28 年	1,964	920	1,307	672	157	5020
平成 29 年	1,800	801	1,295	677	155	4728
平成 30 年	1,588	756	1,353	558	155	4407

*（眼科検診も含）



(ア) 内 科

診療件数は1,588件、入院や他界・移行支援等で212件の減少となりました。感染症はGHのみで入所においては発症はありませんでした。

(イ) 精神科

診療は週2日と前年度と変わりなく診療件数は756件でした。利用者の移行・他界に伴い、45件の減となりました。

(ウ) 歯 科

前年度1,295件 感染症による課閉鎖等なかったこともあり1,353件で定期的に口腔ケアや診療が行えたことで58件増となりました。

(エ) 皮膚科

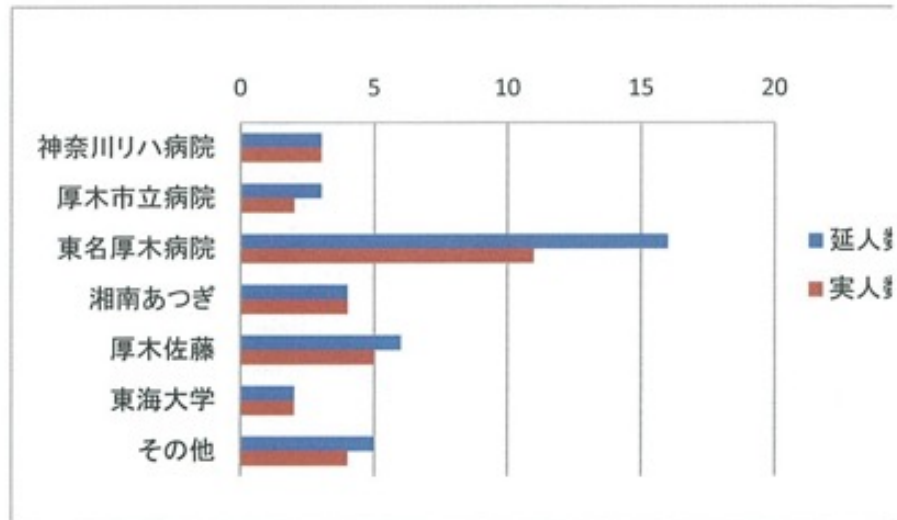
今年度診療件数は558件で利用者個々の状態改善もあり昨年度よりも119件減となりました。老人特有の皮膚疾患や褥瘡は園内での診療・処置にも限界あり並行して外部通院も行いました。

ウ 他医療機関の受診状況

園内治療には限界があり専門医による診療が必要な疾患や、より精密検査を必要とする疾患については神奈川リハビリテーション病院や厚木市立病院、東名厚木病院等を利用しました。発熱や外傷については近隣の病院を利用し、東名厚木病院等への通入院は緊急での利用がほとんどでした。延べ入院数は39件でここ数年の利用者の入れ替わりと移行支援への取り組みの結果として昨年よりも13件減につながった。

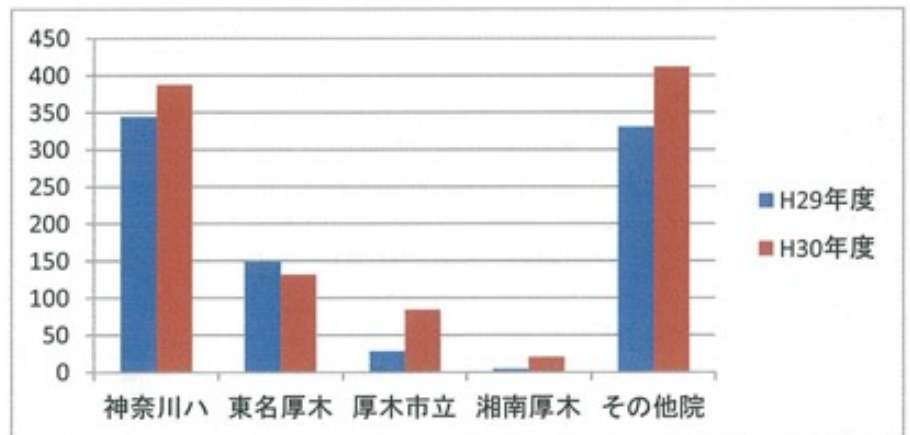
入院状況

入院先	延人数	実人数
神奈川県リハ病院	3	3
厚木市立病院	3	2
東名厚木病院	16	11
湘南あつぎ	4	4
厚木佐藤	6	5
東海大学	2	2
その他	5	4
計	39	31



厚木精華園通院状況

通院先	H29年度	H30年度
神奈川県リハ	344	387
東名厚木	149	131
厚木市立	28	84
湘南厚木	4	20
その他院	330	411
計	855	1033



平成 30 年度通院状況

1. 神奈川県リハ病院

内科	28
外科	71
泌尿器科	72
眼科	17
リハ科	3
脳神経科	7
神経内科	3
整形外科	76
皮膚科	109
耳鼻科	0
歯科	6
延人数計	387

2. 東名厚木クリニック病院

内科	68
外科	4
脳外科	3
整形外科	1
形成外科	7
泌尿器	14
耳鼻科	0
救急外来	33
延人数計	131

3. 厚木市立病院

外科	15
脳外科	0
眼科	36
泌尿器科	7
整形外科	8
内科	14
麻酔科	3
婦人科	0
肛門外来	
救急外来	0
延人数計	54

4. 湘南厚木病院

外科	0
内科	6
救急外来	10
泌尿器科	4
延べ人数	20

5. その他医療機関

峯崎整形外科	27
米澤外科内科	108
戸室耳鼻科	46
東海大	32
とびお診療所	13
近藤病院	1
あらかわクリニック	18
相州病院	26
森の里	4
厚木佐藤病院	86
仁厚会	8
その他医院等	41
延べ人数	410

エ 入院状況

平成30年度は延べ39件、入院日数は1122日、実人数30名でした。また平均すると1回の入院日数は、約28日と昨年より6日ほど長くなりました。高齢に伴う身体の変化は顕著であり主に転倒による外傷や誤嚥性肺炎・尿路感染ので入院が多く、入退院を繰り返す人もあり園内での看護・支援継続の困難さに療養型の病院等に移行された方もいました。

入院状況

平成30年4月～平成31年3月31日

NO	性別	年齢	疾患名	入院機関	入院期間		入院日数
1	男	72	肺炎・食不振	厚木佐藤	4/1-6/22	H30・2・15～入院	83
2	女	65	左目角膜潰瘍	厚木市立 眼科	4/1-4/14	H30・3・29～入院	14
3	男	56	肺炎	米澤外科内科	4/14-4/27		14
4	男	60	水腎症	厚木佐藤	4/19-6/13		56
5	女	81	誤嚥性肺炎	湘南厚木	4/21-5/13		23
6	男	69	右肺炎・胸水	東名厚木	4/22-7/27	救急車要請	97
7	男	67	心不全・肺水腫	東名厚木	5/7-5/25		19
8	男	77	白内障手術	東海大学	5/21-5/23		3
9	男	70	イレウス	東名厚木	6/8-6/13		65
10	女	70	食思不振	オアシス湘南	7/10-8/3	救急車要請	25
11	女	83	尿路感染・肺炎	東名厚木	7/12-7/18		7

12	男	77	慢性硬膜下血腫・胃瘻造	東名厚木	7/21-9/19		51
13	女	78	脳出血	湘南厚木	7/29-8/2		5
14	男	50	誤嚥性肺炎	東名厚木	8/3-8/6		3
15	女	65	左目角膜潰瘍	厚木市立	8/6-8/17		11
16	女	70	左大腿骨頸部骨折	神奈川リハ	8/13-9/4		23
17	男	45	血小板減少治療中 高血糖(600)	厚木佐藤	9/7-9/27		21
18	女	83	尿路感染	東名厚木	9/9-9/14		6
19	男	59	肺炎・尿路感染	東名厚木	9/9-10/1		22
20	男	60	水腎症	厚木佐藤	9/12-10/1		20
21	男	50	右大腿骨頸部骨折	神奈川リハ	9/12-10/1	救急車要請	20
22	男	79	NG-T交換後 肺炎	仁厚会	9/13-11/11		62
23	男	42	前立腺炎	湘南厚木	9/30-10/23		24
24	男	72	膀胱がん	厚木市立	10/3-10/15		13
25	男	70	イレウス	東名厚木	10/15-11/1		18
26	女	70	肺炎・尿路感染	厚木佐藤	11/17-1/15		60
27	男	72	右下肢蜂窩織炎	東名厚木	11/30-12/11	救急車要請	12
28	女	88	肺炎	東名厚木	12/14-1/22		40
29	男	59	尿路感染・肺炎	東名厚木	12/17-2/18		64
30	男	51	左硬膜外出血 脳挫傷 頭蓋骨骨折	神奈川リハ	12/20-2/13		56
31	女	83	肺炎	東名厚木	12/22-12/28		7
32	女	70	食思不振	オアシス湘南	1/17-		74
33	男	55	転倒による硬膜下血腫	東海大学	1/22-1/23		1
34	男	74	嘔吐・イレウス	東名厚木	1/31-2/22		23
35	男	50	発熱・肺炎	東名厚木	2/2-2/26		25
36	男	75	イレウス	米澤外科内科	3/1-		31
37	男	80	肺炎	東名厚木	3/13-3/25		13
38	女	75	肺炎	厚木佐藤	3/22-		10
39	男	46	誤嚥性肺炎	湘南厚木	3/31-	救急車要請	1

*救急車の要請は入院状況も含め13件でした。

オ 死亡者
入所利用者の死亡状況は次のとおりです。

	性別	年齢	疾患	医療機関	日時
1	女	81	誤嚥性肺炎・老衰	湘南厚木	H30年5月13日 03時16分
2	女	78	脳出血（左被殻出血）	湘南厚木	H30年8月2日 17時27分
3	男	80	老衰	仁厚会	H30年11月11日 14時
4	女	88	肺炎・老衰	東名厚木	H31年01月22日 06時16分

カ その他

（ア）感染症対策

インフルエンザワクチン予防接種の実施、インフルエンザウィルスキット、ノロウィルス抗体キット、マスクなどを購入し感染症予防の対策を取りました。また、支援員への感染症予防の啓発として専門医による研修会を開催とノロ対応訓練を行い標準化を図るよう努めました。今年度も感染性胃腸炎の感染はなくインフルエンザについてはGH（メイ・ひのき）2ホームで3名発症があり予防内服を行いました。インフルエンザの流行時期が変化しているため通院時にはマスク着用し予防対策を継続しています。

（イ）医療的ケア

高齢化に伴い入退院を繰り返す中で医療的ケアが求められる機会が多くなっています。今年度も医療的ケアが必要となった方の受け入れや医療行為の変更等で34名の職員が研修を終了しました。また年1回の園内での手技見直しを実施し安全確認を行っています。

医療的ケアの対象人数は経鼻栄養：2名、胃ろう：5名、吸引：8名。

7 厚木身体障害者等生活介護事業所『とまと』

厚木市より事業を引き継ぎ、厚木精華園による運営が8年目となりました。平成30年度は、利用者総計が長期の入院者等複数名出た関係で前年度より減少しましたが、兼ねてから利用者や家族からの要望があった「土曜日開所」を試行的に実施し好評だったことを受け、来年度は今年度より営業日を15日増やし「土曜日・祝祭日開所」を実施することになりました。利用者意見の活性化を継続し、自立支援プログラム、入浴、行事等要望に応えました。またボランティアとの協働作業で、新たなる自主作品の作製により活動内容が拡がりました。これからも利用者の声を大事に、日々潤いのある活動を提供します。

(1) 年間事業実績

	区分6	区分5	区分4	区分3	総計
男性	492	335	57	521	1405
女性	672	838	133	0	1643
計	1164	1173	190	521	3048

週末イベントなど、必要性に応じて土曜日・日曜日に事業実施を行ってきました。このことにより、「とまと」利用者が一同に集まる場を提供することができました。

項目	事業実施日	延利用者数	1日平均利用者数
実績	246日	3048人	12.3人

(2) 曜日別利用予定者数

曜日	月	火	水	木	金
利用人数	16人 (男7・女9)	16人 (男5・女11)	13人 (男6・女7)	14人 (男8・女6)	17人 (男7・女10)

(3) 利用者概要

利用契約者数…36人(男性19人・女性17人) ※年間ボランティア数…40名(延人員)
 年齢分布…10代(1人)20代(7人)30代(5人)40代(10人)50代(6人)60代(7人)
 障害支援区分…区分2(なし)・区分3(5人)・区分4(5人)・区分5(13人)・区分6(13人)
 障害原因…頸椎損傷(0人)・脳外傷(6人)・脳内出血、脳梗塞(6人)
 脳性マヒ(15人)・糖尿病(6人)等
 車椅子使用者…31人 白杖使用者…1人 歩行器…1人

(4) 活動実績




ア 防災訓練…月1回、年間12回実施

4月	5月	6月	7月	8月	9月
緊急時訓練 月曜利用者	緊急時訓練 火曜利用者	緊急時訓練 水曜利用者	緊急時訓練 木曜利用者	緊急時訓練 金曜利用者	避難場所への 移動訓練
10月	11月	12月	1月	2月	3月
緊急時訓練 月曜利用者DVD使用	緊急時訓練 火曜利用者DVD使用	緊急時訓練 水曜利用者DVD使用	緊急時訓練 木曜利用者DVD使用	緊急時訓練 金曜利用者DVD使用	避難場所への 移動訓練

イ 自立支援プログラム「この指とまれ!!」実績

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0回/0名	1回/3名	1回/3名	1回/5名	1回/6名	2回/12名
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1回/4名	2回/11名	1回/6名	1回/10名	1回/8名	1回/4名

8 地域生活支援課（グループホーム）





	①	②	③
写真			
ホーム名	グループホーム ゆめホーム	グループホーム はなホーム	グループホーム そらホーム
タイプ	2階一戸建	2階一戸建	2階一戸建
開設年月	平成9年4月 平成17年3月 に移転	平成14年4月	平成15年10月
所在地	厚木市 鷹尾地区4丁目	厚木市 鷹尾地区4丁目	厚木市 鷹尾地区4丁目
定員	4名+体験1名	6名	5名
入居者数	男性：4名	男性：5名	男性：3名 女性：1名
体験部屋	1		
家賃	35,000円	33,000円	33,000円
食費	13,743円	13,657円	13,996円
光熱水費	17,460円	10,546円	12,425円
日常生活品費	1,000円	1,000円	1,000円
援護地	厚木市 3名 小田原市 1名	厚木市 2名 川崎市 1名 愛川町 1名 藤沢市 1名	横浜市 1名 藤沢市 1名 厚木市 1名 座間市 1名
日中活動	福祉サービス4名	福祉サービス5名	福祉サービス4名
療育手帳	A 2-3名 B 1-1名	A 1-2名 A 2-2名 B 1-1名	A 2-4名
障害支援 区分	区分2-1名 区分3-1名 区分4-1名 区分5-1名	区分3-2名 区分4-2名 区分5-1名	区分4-3名 区分5-1名
介護保険利用	介護保険併用0名	介護保険併用2名	介護保険併用0名
支援体制 (時間)	(平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15	(毎日) 6:00~9:00 (平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15	(毎日) 6:00~9:00 (平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15
夜間支援	夜勤	巡回	巡回
防災防犯設備	自動火災報知機 まもるっく	自動火災報知機 まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく

*利用者の高齢化および支援度の重度化、そして、建物の老朽化を見据えて日中支援型GIIの検討を行っていきます。

*30年度末の利用者の状況は、平均年齢64才(男性62才・女性65才)、平均支援区分4です。

*「めい」「すみれ」「ひのき」はバリアフリー設計であり、3名の方が車いす(うち1名は歩行器)を利用しています。

平成31年3月31日現在

④	⑤	⑥	⑦
			
グループホーム めいホーム 平屋一戸建	グループホーム ハイツすみれ 平屋一戸建	グループホーム いずみホーム 平屋一戸建	グループホーム ひのきホーム 平屋一戸建
平成20年10月	平成21年5月	平成22年5月	平成24年5月
厚木市 鷹尾地区2丁目	厚木市 鷹尾地区4丁目	厚木市 鷹尾地区1丁目	厚木市 上荻野地区
5名	5名	5名	5名
女性：5名	女性：5名	女性：5名	男性：5名
36,000円	37,000円	38,000円	32,000円
13,408円	14,560円	15,114円	13,447円
10,007円	11,485円	12,619円	11,046円
1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
秦野市 1名 茅ヶ崎市 1名 川崎市 2名 厚木市 1名	大和市 1名 座間市 1名 厚木市 1名 秦野市 1名 寒川町 1名	座間市 1名 相模原市 1名 小田原市 1名 横浜市 1名 秦野市 1名	厚木市 2名 海老名市 1名 湯河原町 1名 小田原市 1名
福祉サービス5名	福祉サービス5名	福祉サービス5名	福祉サービス5名
A1-2名 A2-3名	A1-2名 A2-1名 B1-2名	A2-3名 B1-2名	A2-4名 B1-1名
区分4-1名 区分5-4名	区分4-2名 区分5-2名 区分6-1名	区分3-2名 区分4-2名 区分5-1名	区分4-4名 区分5-1名
介護保険併用3名	介護保険併用3名	介護保険併用3名	介護保険併用2名
(平日) 15:00~19:15 (休日) 8:00~19:15	(平日) 15:00~19:15 (休日) 8:00~19:15	(平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15	(平日) 15:00~19:15 (休日) 8:00~19:15
夜勤	夜勤	夜勤	夜勤
自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく

*利用者の日中活動の場としてはも厚木精華園の生活介護事業(32名)、厚木精華園身体障害者等生活介護事業所(1名)、法人外の就労系サービス(14名)、また、3名の方が介護保険のディサービスを利用しています。
*介護保険のサービスを併用している方は、13名であり、入浴支援、特養ショートステイ、介護用品貸与、ディサービス等を利用しています。
*成年後見制度の利用も推進しており、12名に成年後見人が選任されています。

9 厚木精華園相談 支援事業所『ここから』

(1) 概要

本事業所は指定特定相談支援事業所として指定を受け、これまで地域での高齢知的障害者支援を積み上げてきた厚木精華園の強みを活かし、他職種、とりわけ介護保険事業者（居宅事業所のケアマネージャー、地域包括支援センター等）との連携を強化し、地域包括ケア社会実現に向けた一翼を担いました。

相談の内容に関しては、よりきめ細かい対応と他支援機関との連携を心掛けながら進めており、基幹相談支援センター、荻野地区包括支援センター、市社協、市障がい福祉課、生活福祉課、サービス提供事業所、医療機関の相談室などとの連携はより一層深まっており、特に、荻野地域包括支援センターとの連携では、高齢相談者と障がいが疑われるご家族へのアプローチをワンストップでおこなえるようになったのは大きな成果であり、「地域包括ケア社会の実現」に向けた取り組みとして、一定の実績をあげることができたと言えます。

また、家庭内暴力、自傷他害、経済的問題、医療的ケア、家族間関係性調整など、複雑な課題解決を求められるケースも多く、対応には、かなりの知識、労力、時間を要するため、職員の負担軽減が課題となってきます。

(2) 具体的な内容

①相談件数 3,748 件

*相談方法

訪問・来所・電話・同行等

*障がい別

知的 815 件 精神 773 件 身体 957 件

その他 1,203 件

②計画相談 契約数 97 名 計画作成 70 件 モニタリング 119 件

③障害支援区分認定調査 84 件実施

Ⅲ 家族会活動報告

月に1回、定期的に開催されました。午前中に四役会議（家族会から会長、副会長、会計、書記、園より、園長、支援部長参加）、役員会（四役会議参加者及び各課家族会幹事参加）が開催され、午後には、全体会と課別懇談会が開催されました。

また6月は昼食懇親会、8月はお墓参りと盂蘭盆会法要、10月はラ・フェスタに参加しました。3月は体育館で春の宴を開催しました。

家族会実施状況

日程		内容	その他
30年4月14日(土)	PM	全体会・第三者委員紹介、園内行事予	役員会あり
5月12日(土)	AM PM	全体会、総会	役員会あり
6月9日(土)	PM	全体会、親睦昼食会	
7月14日(土)	PM	全体会・課別懇談会	役員会あり
8月4日(土)	PM	盂蘭盆会法要・全体会	役員会あり
9月22日(土)	PM	全体会・	役員会あり
10月6日(土)	PM	ラ・フェスタ	
11月10日(土)	PM	全体会・家族会向けアンケート	役員会あり
12月8日(土)	PM	全体会	役員会あり
31年1月12日(土)	PM	第三者委員と個別面談 全体会	役員会あり
2月9日(日)		降雪予報のため家族会中止	
3月9日(土)	PM	全体会・春の宴	役員会あり

IV 後援会活動報告

<年間事業報告>

- ・平成30年4月23日 後援会役員会
 - ① 平成29年度事業実施状況について
 - ② 平成29年度収支決算書について
 - ③ 平成29年度監査報告について
 - ④ 平成30年度事業計画(案)について
 - ⑤ 平成30年度収支予算(案)について
 - ⑥ その他
- ・平成30年 6月20日 第1回デザートテラス(97名参加)
- ・平成30年 7月11日 夏まつり2018
- ・平成30年 9月 5日 長寿の祝い
- ・平成30年10月 6日 ラフェスタ2018
- ・平成31年 2月 6日 第2回デザートテラス(86名参加)
- ・平成31年 3月15日 役員会開催
- ・喫茶ブティ開催(6回)

<補助事業>

- 1 行事等各種事業への補助
 - ① 行事補助(夏祭り・長寿の祝)
 - ② 人権擁護活動への補助(厚木地区オンブズマンネットワーク会費)
 - ③ 人権フォーラム協賛金
 - ④ ラフェスタ2018補助
 - ⑤ ボランティア交通費補助
 - ⑥ 喫茶ブティへの補助

- 2 施設設備への補助
 - ① 温冷配膳車リース
 - ② 公用車リース

- 3 後援会の発展及び事業の推進
 - ① 会員への各種案内の発送
 - ② 窓口にて後援会の入会及び事業内容の案内
 - ③ 機関紙ベルデカーレにて入会の案内とご加入者報告

*厚木精華園は、地方自治法による指定管理者施設として神奈川県からの指導を受けています。

所管 神奈川県障害サービス課
電話 045-210-1111 (代表)

平成30年度
社会福祉法人かながわ共同会
厚木精華園 事業概要

令和元年6月発行

発行者 社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園

園長 平嶺 一昭

〒243-0201 厚木市上荻野4835-1

電話 046-291-0780

FAX 046-291-0949

atsugi@kyoudoukai.jp

<http://www.kyoudoukai.jp/atsugi/>

津久井やまゆり園事件
この悲しみを力に、
ともに生きる社会を実現します

平成28年7月14日、障害者支援施設である
国立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。
このような事件が二度と繰り返されないよう、
私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、
ともに生きる社会の実現をめざし、
ここに「ともに生きる社会かたがわ憲章」を定めます。



翔子

ともに生きる社会
かながわ憲章

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、
すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく、
暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、
限られたるみで取り組みます

平成28年7月14日 かながわ県

題字「ともに生きる」
ダウン症の女流書家 金澤翔子
本書の取組を支援する方々の厚意によるものです。



こちらから [ともに生きる社会かたがわ](#) 検索
この憲章は神奈川県と神奈川県障害者支援センターが共同して策定したものです。
問合せ先 神奈川県福祉子ども安心いじめ防止対策推進センター 電話 045-210-4061 FAX 045-210-8854



厚木精華園

社会福祉法人 かながわ共同会

〒243-0201 神奈川県厚木市上荻野 4835-1

電話：046-291-0780 FAX：046-291-0949